

マイナビ 2022年卒 入社半年後調査

～ コロナ禍2年目での就活を乗り越えた新入社員たちの現在地とは ～



2023年1月

- 調査期間： 2022年10月25日（火）～2022年10月31日（月） ※前年（21年卒）：2021年10月25日（月）～2021年11月1日（月）
※就職活動時のデータの調査期間「マイナビ 2021年卒 学生就職モニター調査」
「6月の活動状況」：2021年6月24日（木）～2021年6月30日（水）
「7月の活動状況」：2021年7月26日（月）～2021年7月31日（土）
「8月の活動状況」：2021年8月25日（水）～2021年8月31日（火）
- 調査対象： 2022年卒業予定として就職活動を行い、その状況をモニター調査で回答した方を対象とした追跡調査
（マイナビ 2022年卒 学生就職モニター調査 6月・7月・8月の活動状況」回答時点で大学4年生及び院2年生だった方）
- 調査方法： WEB上のアンケートフォームより入力
- 有効回答数： 851名
[内訳：文系男子 142名 理系男子 196名 文系女子 254名 理系女子 259名]
[理系内訳：就活時理系学部生 258名 就活時理系院生 197名]

◆集計方法について

全体の数値を算出するにあたり、文理男女別の構成比を2022年3月卒業予定の大学生・大学院生の構成比と等しくする為、文部科学省の学校基本調査を基に、ウエイトバック集計を行っている。基準数値は令和2年度学校基本調査(2020年12月公表)の大学3年生・院1年生在籍数を参照し、文理男女比を算出している。
※ウエイトバック集計とはアンケート回答者の属性構成比率が実際の属性比率と乖離している場合、構成比に合わせるように重み付けして集計すること。

※調査結果は、小数点第2位を四捨五入しております。そのため、グラフ及び表の和が100.0%にならない場合がございます。予めご了承ください。

【CONCEPT】

この調査の主な目的は「就職活動をした人の『その後』の状況」を知ることにある。もともとの発想は「就職活動がうまくいったかどうかは『入社して良かった』と思えたかどうかで決まる」というものだ。つまり「良い就職活動とはどういうものか」を知るためには「入社後」を調査する必要があると考えたのである。19年卒を対象に開始したこの調査も4年目を迎え、今回は「将来のキャリアプラン実現のための環境」、「勤務先の環境がどのように自分と合っているか」、「社長、経営者の印象」について、勤務先満足度との関係のより深い分析を試みた。

【INDEX】

◆22年卒の就活生のうち就職している割合は89.7% 就活はしたが現在「学校に通学」がやや増加

- 1) 今、企業に勤務しているか、もしくは公務員として働いているか
- 2) 現在自宅住まいか、一人暮らしか
- 3) 現在の勤務先の本社所在地の場所
- 4) 現在の勤務地の場所

◆就活時理系学部生だった人の勤務先について、従業員規模5,000人以上の割合が大きく増加

- 5) 現在の勤務先の従業員規模
- 6) 現在の勤務先の業種

◆勤務先のインターンシップに参加していた割合は前年並みの約4割 理系のほうが文系より割合が高い

- 7) 現在の勤務先のインターンシップに参加していた割合・前年比
- 8) 現在の勤務先のインターンシップのプログラム内容（複数回答）
- 9) 現在の勤務先のインターンシップは対面かオンラインか
- 10) 現在の勤務先のインターンシップに何日間参加したか
- 11) 現在の勤務先のインターンシップにあてはまるもの（複数回答）
- 12) 現在の勤務先のインターンシップの満足度

◆就活時の入社予定先満足度5(最高)は約5割だが、入社半年後の勤務先満足度5は約3割に減少

- 13) 就活時の入社予定先の満足度と現在の勤務先の総合満足度比較
- 14) 満足度の側面比較・就活時と現在
 - ・労働条件満足度（給与、福利厚生、休日休暇等についてどの程度満足しているか）
 - ・能力を活かせるか（大学、大学院で学んだこと、資格など、能力を活かせそうか）
 - ・社員の印象と帰属感（社員[同僚等]の印象からその企業が自分に合っていると思えるか）
 - ・経営者の印象（社長、役員、経営者の印象について）
 - ・将来のキャリア展望（理想とする将来のキャリアプランを実現できそうか）
 - ・比較検討（インターンシップ、就職活動を通じて、十分な選択肢の中から選べたか）

◆入社後の満足度は、文理の比較でも理系学部生・院生の比較でも、同様に下がる傾向

- 15) 総合満足度比較・文理別 + 理系学部生院生別

◆従業員5,000人以上の満足度5の割合は、就活時は他より高いが、現在の勤務先では差が縮小

- 16) 総合満足度比較・勤務先の従業員規模別

◆勤務先のインターンシップの満足度が5(最高)だった場合、入社後の勤務先満足度はあまり下がらない

- 17) 総合満足度比較・勤務先のインターンシップ参加・不参加
- 18) 総合満足度比較・勤務先のインターンシップ満足度別

◆勤務先満足度が高い人は勤務先のインターンシップ参加時に「自分に合っている」と思った割合が高い

- 19) 勤務先満足度別・現在の勤務先のインターンシップのプログラム内容（複数回答）
- 20) 勤務先満足度別・現在の勤務先のインターンシップにあてはまるもの（複数回答）
- 21) 文系・勤務先満足度別・勤務先のインターンシップにあてはまるもの（複数回答）
- 22) 理系・勤務先満足度別・勤務先のインターンシップにあてはまるもの（複数回答）

◆満足度が高い新入社員の職場は、将来のキャリアプラン実現のための環境が、より多くの面で整っている

- 23) 理想とする将来のキャリアプランを実現するための環境が整っているか
- 24) 勤務先満足度と将来のキャリアプラン実現のための環境が（十分+ある程度は）整っている割合の関係
- 25) 「（十分+ある程度は）整っている」数・平均
- 26) 文系・勤務先満足度と将来のキャリアプラン実現のための環境の関係（複数回答）
- 27) 理系・勤務先満足度と将来のキャリアプラン実現のための環境の関係（複数回答）

◆勤務先満足度が高いと環境が自分に合っている数が多いが、合っていても満足度につながらない場合も

- 28) 勤務先の環境と、その環境が自分に合っているかどうか
- 29) 勤務先満足度と環境が自分に合っているかどうかの関係
- 30) 「自分に合っている」数・平均
- 31) 文系・勤務先満足度と環境が自分に合っているかどうかの関係
- 32) 理系・勤務先満足度と環境が自分に合っているかどうかの関係

◆勤務先満足度が高い人は、勤務先の社長にあてはまる好印象の数が多く、悪印象の数が少ない

- 33) 勤務先満足度と「勤務先の社長、首長、経営者にあてはまるもの」との関係
- 34) 「好印象」の選択数・平均
- 35) 「悪印象」の選択数・平均
- 36) 文系・勤務先満足度と「勤務先の社長等にあてはまるもの」との関係
- 37) 理系・勤務先満足度と「勤務先の社長等にあてはまるもの」との関係

◆就職活動時に知っておけばよかったと思うものは「どのくらい残業があるか」が最も高く約3割

- 38) 入社して初めて分かった情報で、就職活動時に知っておけばよかったと思うもの（複数回答）
- 39) 勤務先総合満足度と知っておけばよかった情報の関係
- 40) 文系・勤務先総合満足度と知っておけばよかった情報の関係
- 41) 理系・勤務先総合満足度と知っておけばよかった情報の関係

◆勤務先満足度が最高の新入社員は、勤務先に「将来の目標となる人」がより多くいる傾向がある

- 42) 現在の勤務先に「将来この人のようにになりたい」と思う人がいる割合
- 43) 勤務先総合満足度 × 将来この人のようにになりたいと思う人がいる割合
- 44) 勤務先総合満足度 × 将来この人のようにになりたいと思う人は何人か・平均

◆勤務先満足度が高いか低いかで最も差が出た福利厚生・勤務制度は「フレックスタイム制」

- 45) 勤務先総合満足度と充実していると思う福利厚生や勤務制度の関係（複数回答）
- 46) 文系・勤務先総合満足度 × 充実している福利厚生・勤務制度（複数回答）
- 47) 理系・勤務先総合満足度 × 充実している福利厚生・勤務制度（複数回答）

◆勤務先満足度が低い人は、勤務先で働いてみて「入社を決めた時とのギャップ」を感じる数がより多い

- 48) 勤務先満足度と「入社を決めた時とのギャップ」との関係（複数回答）
- 49) 「入社を決めた時とのギャップ」の選択数・平均
- 50) 文系・勤務先総合満足度と「入社を決めた時とのギャップ」との関係（複数回答）
- 51) 理系・勤務先総合満足度と「入社を決めた時とのギャップ」との関係（複数回答）

◆内定者研修、新入社員研修とも、集合研修が行われる割合が増加、オンライン研修のみは減少

- 52) 内定者研修、新入社員研修は受けたか
- 53) 集合研修だったか、オンライン研修だったか
- 54) 内定者研修の成果の満足度
- 55) 新入社員研修の成果の満足度
- 56) 受けた研修内容（複数回答）

◆あなたの「新入社員生活」（勤務先に入社してから今まで）を漢字一文字で表すと

- 22年卒 BEST10
- 文理男女別ランキング
- <就活時> あなたの「就職活動」を漢字一文字で表すと（2021年8月調査）
- 選んだ漢字とその理由
- 少数回答 ※1票のみの回答で、ユニークなものを抜粋

■□各種調査はWEB上でも順次公開中！□■

マイナビキャリアリサーチLab | 働くの明日を考える <https://career-research.mynavi.jp/>
経営と人材をつなげるビジネスメディア「HUMAN CAPITAL サポネット」 <https://saponet.mynavi.jp/>
就職指導ご担当者のための総合情報サイト マイナビキャリアサポート <http://mcs.mynavi.jp/>

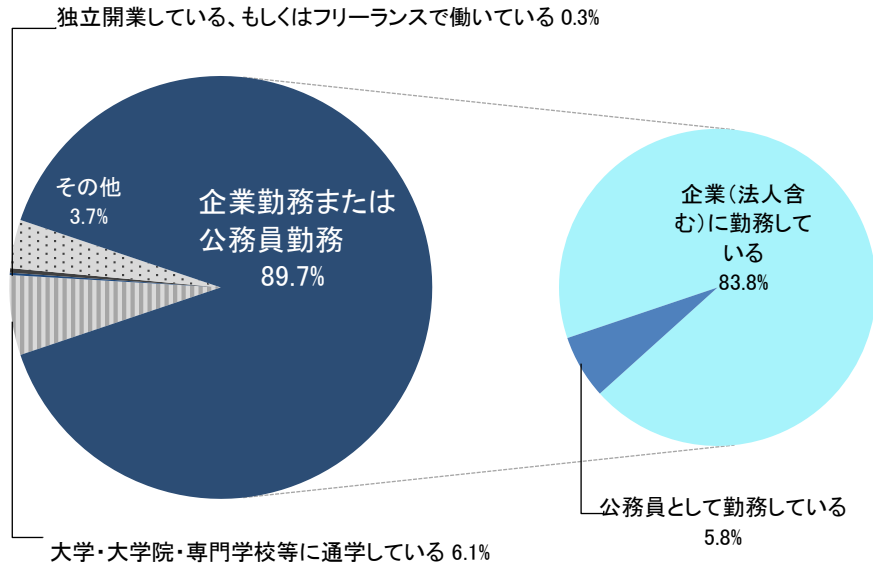
■□本資料について□■

本資料に掲載のデータ、図版等の無断転載を禁じます。資料のご利用やご質問等に関しては下記までご連絡ください。
株式会社 マイナビ 社長室 HRリサーチ統括部 TEL : 03(6267)4571/e-mail : myrm@mynavi.jp

【TOPICS】

◆22年卒の就活生のうち就職している割合は89.7% 就活はしたが現在「学校に通学」がやや増加

図1 今、企業に勤務しているか、もしくは公務員として働いているか



2022年春卒業予定として就職活動を行った人を対象に、2022年10月時点の状況を聞いたところ「企業（法人含む）に勤務している」は83.8%、「公務員として勤務している」は5.8%で、その2つの合計である「就職している」人の割合は89.7%だった。前年は92.8%だったのでわずかに減少した。「大学・大学院・専門学校等に通学」している人は6.1%（前年比1.9pt増）で前年よりやや増加した。

現在自宅住まいか、一人暮らしか聞いたところ、一人暮らしの割合は44.9%（前年比7.4pt減）で前年より減った。また、「寮（共同生活）」と回答した割合は4.5%（前年比1.4pt減）だったが、就活時に理系院生だった人では3.6%（前年比7.2pt減）で、前年（10.8%）の約3分の1、前々年（25.5%）の7分の1と急速に減っている。

	22年卒					21年卒					20年卒				
	全体	文系	理系	理系学部生	理系院生	全体	文系	理系	理系学部生	理系院生	全体	文系	理系	理系学部生	理系院生
回答数	851	396	455	258	197	918	421	497	265	232	893	390	503	264	239
企業（法人含む）に勤務	83.8%	83.9%	83.7%	79.5%	90.9%	87.5%	87.7%	87.1%	81.9%	93.5%	87.1%	86.2%	88.8%	84.5%	93.3%
公務員として勤務	5.8%	6.4%	4.9%	6.2%	2.0%	5.3%	6.4%	3.7%	5.7%	2.6%	5.3%	6.4%	3.4%	3.8%	3.3%
大学・大学院・専門学校等に通学	6.1%	4.7%	8.4%	11.2%	3.6%	4.2%	2.6%	6.6%	8.3%	2.6%	5.0%	4.1%	6.3%	9.5%	2.5%
就職したが、同時に学校にも通っている	0.2%	0.0%	0.5%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
独立開業、もしくはフリーランス	0.3%	0.3%	0.3%	0.0%	0.5%	0.2%	0.2%	0.3%	0.4%	0.0%	0.4%	0.5%	0.3%	0.0%	0.4%
その他	3.7%	4.6%	2.2%	3.1%	2.0%	2.8%	3.1%	2.3%	3.8%	1.3%	2.2%	2.8%	1.2%	2.3%	0.4%

図2 現在自宅住まいか、一人暮らしか

n=851	22年卒					21年卒					20年卒				
	全体	文系	理系	理系学部生	理系院生	全体	文系	理系	理系学部生	理系院生	全体	文系	理系	理系学部生	理系院生
自宅（両親または保護者と同居）	46.1%	53.1%	34.7%	45.0%	21.8%	38.4%	44.0%	30.2%	39.6%	23.3%	44.0%	50.2%	33.6%	45.8%	20.9%
アパート、マンション、社宅、社員寮で一人暮らし	44.9%	38.0%	56.2%	46.1%	71.1%	52.3%	49.1%	57.1%	54.0%	60.8%	40.0%	37.3%	44.4%	44.7%	49.0%
親戚、知人宅	0.9%	0.9%	0.8%	1.2%	0.0%	0.5%	0.8%	0.1%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
寮（共同生活）	4.5%	4.3%	4.9%	4.7%	3.6%	5.9%	3.5%	9.5%	4.9%	10.8%	12.3%	8.9%	18.1%	6.4%	25.5%
シェアハウス	0.3%	0.3%	0.3%	0.4%	0.0%	0.3%	0.2%	0.5%	0.4%	0.9%	0.7%	0.9%	0.3%	0.0%	0.4%
彼氏、彼女、配偶者、パートナーと同居	2.6%	2.4%	2.9%	2.3%	3.6%	2.5%	2.4%	2.6%	0.8%	4.3%	2.3%	2.0%	2.9%	2.3%	3.3%
その他	0.6%	0.9%	0.1%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.7%	0.7%	0.8%	0.8%

図3 現在の勤務先の本社所在地の場所

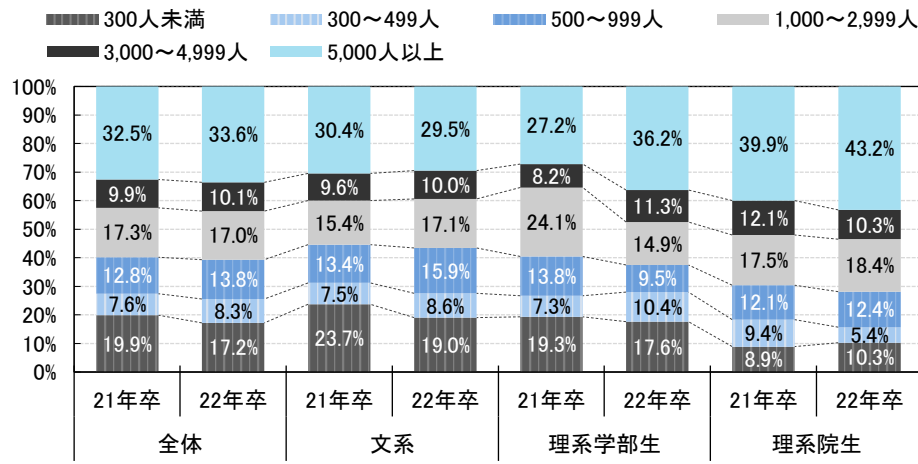
	22年卒					21年卒					20年卒				
	全体	文系	理系	理系学部生	理系院生	全体	文系	理系	理系学部生	理系院生	全体	文系	理系	理系学部生	理系院生
回答数	763	357	406	221	185	851	396	455	232	223	826	362	464	233	231
北海道	1.9%	2.0%	1.7%	2.3%	1.1%	2.5%	3.2%	1.3%	1.7%	1.3%	3.3%	4.3%	1.7%	2.6%	1.3%
東北	1.8%	1.9%	1.6%	2.3%	0.5%	1.4%	1.6%	1.2%	1.7%	0.9%	2.3%	2.8%	1.4%	3.0%	0.0%
東京都	51.4%	52.2%	50.1%	47.1%	53.0%	50.4%	50.0%	51.0%	45.3%	53.8%	53.1%	53.8%	51.9%	47.2%	55.0%
関東（東京都以外）	9.8%	9.2%	10.8%	9.0%	11.4%	9.8%	9.5%	10.3%	11.2%	9.9%	8.5%	8.4%	8.6%	11.6%	6.5%
甲信越	2.5%	3.4%	1.0%	1.4%	1.1%	1.7%	1.7%	1.6%	2.6%	0.9%	1.3%	1.1%	1.6%	2.1%	1.7%
東海	10.9%	11.4%	10.1%	10.9%	10.3%	10.2%	10.7%	9.5%	8.6%	9.9%	7.3%	5.9%	9.6%	10.3%	7.8%
北陸	1.0%	0.7%	1.7%	2.3%	1.6%	1.7%	2.1%	1.0%	1.7%	0.9%	2.0%	2.1%	1.7%	2.6%	0.9%
関西	14.0%	12.9%	16.0%	14.5%	16.8%	14.9%	13.2%	17.5%	18.1%	17.5%	15.3%	14.7%	16.4%	12.0%	20.8%
中国・四国	3.7%	3.9%	3.2%	4.5%	2.2%	4.3%	4.5%	4.1%	5.2%	2.6%	3.5%	3.4%	3.7%	5.6%	2.6%
九州・沖縄	2.7%	2.4%	3.2%	5.4%	1.1%	2.9%	3.4%	2.2%	3.9%	1.3%	4.2%	3.9%	4.6%	6.0%	3.5%
海外	0.3%	0.0%	0.7%	0.5%	1.1%	0.1%	0.0%	0.3%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

図4 現在の勤務地の場所

n=763	22年卒					21年卒					20年卒				
	全体	文系	理系	理系学部生	理系院生	全体	文系	理系	理系学部生	理系院生	全体	文系	理系	理系学部生	理系院生
北海道	2.5%	3.0%	1.6%	1.8%	1.1%	3.2%	4.3%	1.6%	1.7%	1.8%	4.8%	6.1%	2.6%	3.4%	1.7%
東北	2.5%	2.6%	2.5%	4.5%	1.1%	3.4%	4.1%	2.3%	2.6%	1.8%	4.3%	5.2%	2.9%	3.9%	1.3%
東京都	32.3%	34.8%	28.3%	30.3%	23.8%	29.6%	34.3%	22.5%	19.4%	25.6%	29.4%	32.0%	25.1%	24.9%	26.0%
関東（東京都以外）	19.7%	17.2%	24.0%	18.1%	30.8%	19.8%	15.5%	26.4%	22.0%	29.1%	15.8%	13.2%	20.4%	20.6%	19.9%
甲信越	2.7%	3.6%	1.2%	1.4%	1.1%	2.2%	2.0%	2.4%	3.4%	1.3%	2.1%	1.1%	3.7%	3.0%	4.3%
東海	13.5%	13.7%	13.2%	10.9%	15.1%	10.6%	10.5%	10.9%	9.9%	12.6%	10.6%	9.3%	12.8%	13.7%	11.7%
北陸	1.5%	0.9%	2.6%	3.6%	2.7%	2.4%	2.6%	2.0%	3.4%	1.8%	2.6%	2.1%	3.4%	3.4%	3.0%
関西	14.6%	14.2%	15.3%	17.6%	13.0%	18.3%	16.2%	21.5%	23.3%	18.8%	19.4%	20.2%	18.1%	15.5%	21.6%
中国・四国	5.6%	5.8%	5.3%	4.1%	7.0%	5.3%	5.0%	5.8%	7.8%	4.4%	6.7%	6.8%	6.4%	5.6%	6.9%
九州・沖縄	4.9%	4.3%	6.0%	7.7%	4.3%	5.1%	5.5%	4.5%	6.5%	2.7%	4.2%	3.9%	4.6%	6.0%	3.5%
海外	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

◆ 就活時理系学部生だった人の勤務先について、従業員規模5,000人以上の割合が大きく増加

図5 現在の勤務先の従業員規模 n=763



勤務先の従業員規模では、就活時に理系学部生だった人の勤務先について、従業員規模5,000人以上の割合が大きく増加した（36.2%、前年比9.0pt増）。理系院生でも従業員規模5,000人以上の割合がやや増加している（43.2%、前年比3.3pt増）。

勤務先の業種では、理系学部生が「ソフトウェア・情報処理・ネット関連」に勤務している割合が大きく増加した（20.4%、前年比7.9pt増）。理系院生では「繊維・化学・ゴム・ガラス・セラミック」に勤務している割合が増加した（14.1%、前年比4.7pt増）。

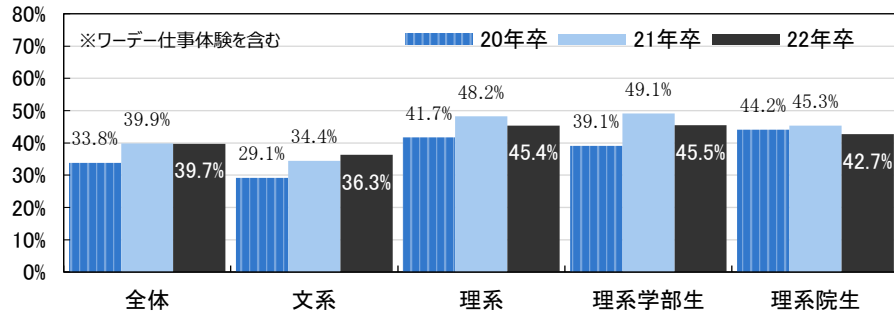
n=763	22年卒					21年卒					増減(22年卒-21年卒)				
	全体	文系	理系	理系学部生	理系院生	全体	文系	理系	理系学部生	理系院生	全体	文系	理系	理系学部生	理系院生
50人未満	2.4%	2.9%	1.6%	3.6%	0.5%	4.0%	5.1%	2.2%	4.3%	0.4%	-1.6%	-2.2%	-0.6%	-0.7%	+0.1%
50~99人	3.2%	3.6%	2.4%	2.7%	2.2%	3.6%	3.9%	3.1%	4.7%	2.2%	-0.4%	-0.3%	-0.7%	-2.0%	±0.0%
100~299人	11.6%	12.5%	10.1%	11.3%	7.6%	12.3%	14.7%	8.6%	10.3%	6.3%	-0.7%	-2.2%	+1.5%	+1.0%	+1.3%
300~499人	8.3%	8.6%	7.9%	10.4%	5.4%	7.6%	7.5%	7.7%	7.3%	9.4%	+0.7%	+1.1%	+0.2%	+3.1%	-4.0%
500~999人	13.8%	15.9%	10.4%	9.5%	12.4%	12.8%	13.4%	11.8%	13.8%	12.1%	+1.0%	+2.5%	-1.4%	-4.3%	+0.3%
1,000~2,999人	17.0%	17.1%	16.8%	14.9%	18.4%	17.3%	15.4%	20.3%	24.1%	17.5%	-0.3%	+1.7%	-3.5%	-9.2%	+0.9%
3,000~4,999人	10.1%	10.0%	10.2%	11.3%	10.3%	9.9%	9.6%	10.4%	8.2%	12.1%	+0.2%	+0.4%	-0.2%	+3.1%	-1.8%
5,000人以上	33.6%	29.5%	40.6%	36.2%	43.2%	32.5%	30.4%	35.8%	27.2%	39.9%	+1.1%	-0.9%	+4.8%	+9.0%	+3.3%
1,000人以上	60.7%	56.6%	67.6%	62.4%	71.9%	59.8%	55.4%	66.6%	59.5%	69.5%	+0.9%	+1.2%	+1.0%	+2.9%	+2.4%

図6 現在の勤務先の業種

n=763 * 太字は5.0%以上	業種大分類	22年卒					21年卒					増減(22年卒-21年卒)				
		全体	文系	理系	理系学部生	理系院生	全体	文系	理系	理系学部生	理系院生	全体	文系	理系	理系学部生	理系院生
建設・設備工事	建設	4.7%	3.6%	6.5%	8.1%	3.2%	4.2%	2.6%	6.6%	8.6%	3.1%	+0.5%	+1.0%	-0.1%	-0.5%	+0.1%
住宅・インテリア	建設	1.3%	1.6%	0.7%	0.0%	1.1%	0.8%	0.7%	0.9%	1.7%	0.0%	+0.5%	+0.9%	-0.2%	-1.7%	+1.1%
食品・農林・水産	製造	4.3%	3.3%	6.0%	5.9%	10.3%	4.9%	2.2%	9.1%	11.2%	9.4%	-0.6%	+1.1%	-3.1%	-5.3%	+0.9%
アパレル・服飾関連		0.4%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.9%	0.3%	0.4%	0.0%	-0.3%	-0.2%	-0.3%	-0.4%	±0.0%
繊維・化学・ゴム・ガラス・セラミック		4.2%	2.0%	7.8%	0.9%	14.1%	3.6%	1.8%	6.3%	3.0%	9.4%	+0.6%	+0.2%	+1.5%	-2.1%	+4.7%
薬品・化粧品		3.5%	0.8%	7.9%	7.7%	11.9%	4.2%	2.0%	7.4%	9.5%	9.9%	-0.7%	-1.2%	+0.5%	-1.8%	+2.0%
鉄鋼・金属・鉱業		1.4%	1.0%	2.0%	0.9%	4.3%	1.8%	0.7%	3.4%	1.7%	4.0%	-0.4%	+0.3%	-1.4%	-0.8%	+0.3%
機械・プラント		2.9%	2.3%	4.0%	2.7%	3.2%	3.1%	1.4%	5.6%	2.6%	6.3%	-0.2%	+0.9%	-1.6%	+0.1%	-3.1%
電子・電気機器		5.3%	4.2%	7.1%	3.6%	8.6%	5.8%	3.7%	9.0%	3.0%	11.7%	-0.5%	+0.5%	-1.9%	+0.6%	-3.1%
自動車・輸送用機器		4.3%	2.5%	7.2%	4.5%	7.0%	4.3%	4.1%	4.6%	3.0%	5.4%	±0.0%	-1.6%	+2.6%	+1.5%	+1.6%
精密・医療機器		1.1%	0.8%	1.5%	1.4%	2.2%	1.6%	0.6%	3.1%	3.4%	3.1%	-0.5%	+0.2%	-1.6%	-2.0%	-0.9%
印刷・事務機器・日用品		0.7%	0.7%	0.8%	0.0%	2.2%	1.5%	1.5%	1.5%	1.3%	1.8%	-0.8%	-0.8%	-0.7%	-1.3%	+0.4%
スポーツ・玩具・ゲーム製品		0.3%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.5%	0.1%	0.4%	0.0%	-0.1%	-0.1%	-0.1%	-0.4%	±0.0%
その他メーカー		1.9%	2.3%	1.2%	0.0%	2.7%	1.3%	1.6%	0.9%	0.9%	0.9%	+0.6%	+0.7%	+0.3%	-0.9%	+1.8%
総合商社		商社	0.4%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	-0.2%	-0.5%	±0.0%	±0.0%
専門商社	商社	2.7%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	1.0%	1.8%	2.6%	0.9%	+1.4%	+3.3%	-1.8%	-2.6%	-0.9%
百貨店・スーパー・コンビニ	小売	2.9%	4.0%	1.0%	1.8%	0.5%	1.5%	2.2%	0.5%	0.4%	0.4%	+1.4%	+1.8%	+0.5%	+1.4%	+0.1%
専門店	小売	1.3%	1.8%	0.6%	1.8%	0.0%	1.2%	1.6%	0.6%	0.9%	0.4%	+0.1%	+0.2%	±0.0%	+0.9%	-0.4%
銀行・証券	金融	5.5%	8.6%	0.4%	0.0%	0.5%	4.5%	6.7%	1.2%	0.9%	1.3%	+1.0%	+1.9%	-0.8%	-0.9%	-0.8%
クレジット・信販・リース・その他金融	金融	1.5%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	2.7%	0.5%	0.9%	0.0%	-0.3%	-0.2%	-0.5%	-0.9%	±0.0%
生保・損保	金融	1.6%	2.1%	0.9%	0.5%	1.1%	2.3%	3.4%	0.8%	0.4%	0.9%	-0.7%	-1.3%	+0.1%	+0.1%	+0.2%
放送・新聞・出版	マスコミ	0.8%	0.9%	0.7%	0.0%	1.1%	1.2%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-0.4%	-1.1%	+0.7%	±0.0%	+1.1%
広告・芸能	マスコミ	1.4%	2.0%	0.3%	0.5%	0.5%	0.6%	0.7%	0.5%	0.9%	0.0%	+0.8%	+1.3%	-0.2%	-0.4%	+0.5%
ソフトウェア・情報処理・ネット関連	ソフトウエア・通信	14.7%	12.9%	17.6%	20.4%	11.9%	14.3%	15.5%	12.5%	12.5%	12.1%	+0.4%	-2.6%	+5.1%	+7.9%	-0.2%
ゲームソフト	ソフトウエア・通信	0.3%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	+0.3%	+0.4%	±0.0%	±0.0%	±0.0%
通信	ソフトウエア・通信	2.2%	2.4%	1.8%	2.3%	0.5%	2.4%	2.5%	2.4%	2.2%	1.3%	-0.2%	-0.1%	-0.6%	+0.1%	-0.8%
鉄道・航空	インフラ	1.3%	1.0%	1.8%	2.3%	0.5%	1.6%	1.6%	1.5%	0.4%	2.2%	-0.3%	-0.6%	+0.3%	+1.9%	-1.7%
陸運・海運・物流	インフラ	2.6%	3.6%	0.9%	0.9%	0.5%	2.1%	3.1%	0.6%	0.9%	0.4%	+0.5%	+0.5%	+0.3%	±0.0%	+0.1%
電力・ガス・エネルギー	インフラ	1.0%	0.6%	1.8%	0.5%	2.7%	1.9%	1.9%	2.1%	1.7%	2.7%	-0.9%	-1.3%	-0.3%	-1.2%	±0.0%
不動産	サービス	1.0%	1.5%	0.2%	0.5%	0.0%	1.2%	1.9%	0.1%	0.0%	0.4%	-0.2%	-0.4%	+0.1%	+0.5%	-0.4%
給食・フードサービス		0.6%	0.0%	1.7%	3.2%	0.5%	0.7%	0.9%	0.3%	0.9%	0.0%	-0.1%	-0.9%	+1.4%	+2.3%	+0.5%
ホテル・旅行		0.9%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	2.6%	0.1%	0.4%	0.0%	-0.7%	-1.2%	-0.1%	-0.4%	±0.0%
医療・調剤薬局		2.8%	1.0%	5.8%	13.6%	0.5%	3.2%	1.9%	5.1%	13.4%	0.4%	-0.4%	-0.9%	+0.7%	+0.2%	+0.1%
介護・福祉サービス		1.1%	1.4%	0.7%	1.4%	0.0%	1.6%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	-0.5%	-1.2%	+0.7%	+1.4%	±0.0%
アミューズメント・レジャー		0.3%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	1.5%	0.1%	0.4%	0.0%	-0.6%	-1.1%	-0.1%	-0.4%	±0.0%
コンサルティング・調査		1.2%	1.3%	1.0%	1.4%	0.5%	1.6%	1.7%	1.5%	0.4%	2.2%	-0.4%	-0.4%	-0.5%	+1.0%	-1.7%
人材サービス(派遣・紹介)		2.1%	2.8%	1.0%	1.4%	1.1%	1.3%	1.1%	1.5%	1.3%	1.3%	+0.8%	+1.7%	-0.5%	+0.1%	-0.2%
教育		1.3%	1.7%	0.7%	0.9%	0.5%	1.5%	1.6%	1.4%	0.9%	1.3%	-0.2%	+0.1%	-0.7%	±0.0%	-0.8%
エステ・理美容・フィットネス		0.1%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	-0.1%	-0.1%	±0.0%	±0.0%	±0.0%
冠婚葬祭		0.5%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	+0.4%	+0.6%	±0.0%	±0.0%	±0.0%
その他サービス		4.3%	4.6%	3.6%	5.0%	3.8%	3.9%	5.0%	2.4%	2.6%	2.7%	+0.4%	-0.4%	+1.2%	+2.4%	+1.1%
官公庁・公社・団体		官公庁	7.4%	8.9%	4.7%	6.3%	2.2%	6.6%	8.4%	3.7%	4.3%	3.6%	+0.8%	+0.5%	+1.0%	+2.0%

◆ 勤務先のインターンシップに参加していた割合は前年並みの約4割 理系のほうが文系より割合が高い

図7 現在の勤務先のインターンシップ※に参加していた割合・前年比 n=760



現在の勤務先のインターンシップ（※ワンデー仕事体験を含む、以下同じ）に参加していた割合は39.7%（前年比0.2pt減）でほぼ前年並みだった。理系（45.4%、前年比2.8pt減）は文系（36.3%、前年比1.9pt増）に比べてかなり割合が高い。

現在の勤務先のインターンシップのプログラム内容を聞いたところ、文理とも多かったのは「若手社員・職員との交流会」「グループワーク」の2つで、文系では「人事や社員・職員からの講義・レクチャー」も多かった。

現在の勤務先のインターンシップの満足度で、満足度5（最高）と回答した割合は全体の36.3%（前年比5.2pt増）で、前年より高かった。特に理系学部生で44.0%（前年比18.6pt増）と高い割合になっている。

図8 現在の勤務先のインターンシップのプログラム内容（複数回答）

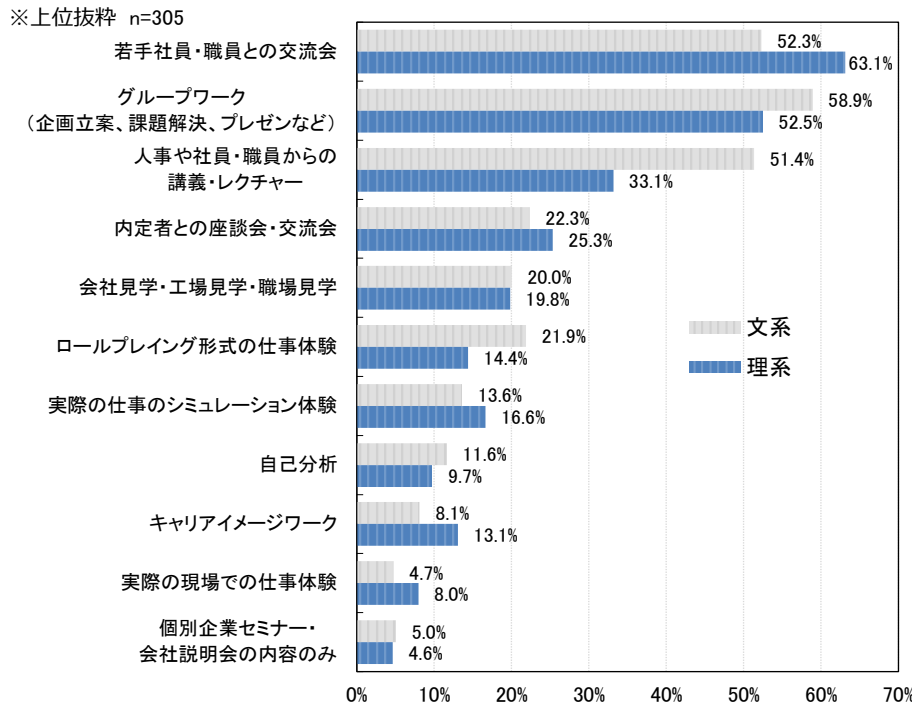


図9 現在の勤務先のインターンシップは対面かオンラインか n=305

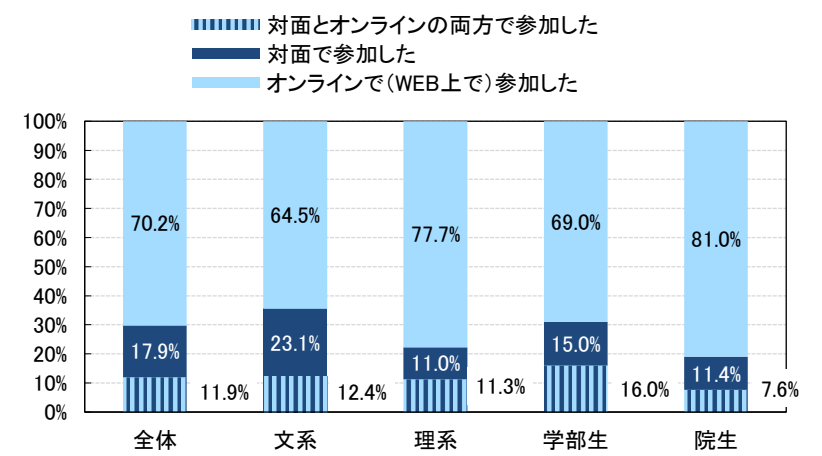


図10 現在の勤務先のインターンシップに何日間参加したか n=760

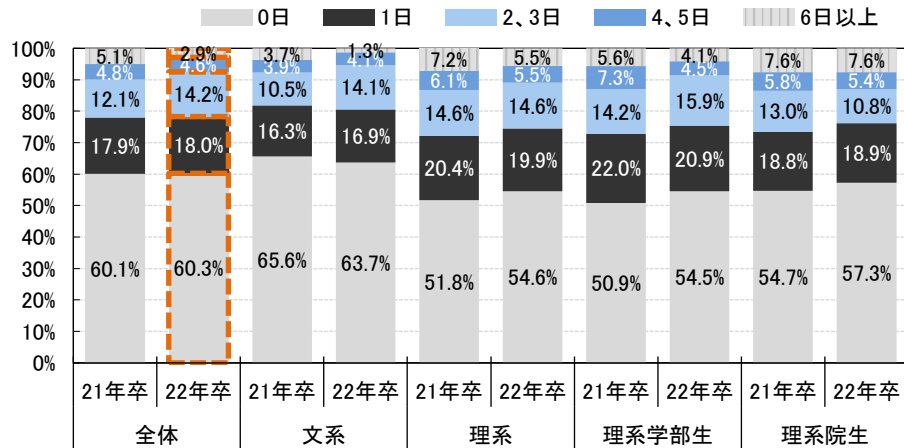


図11 現在の勤務先のインターンシップにあてはまるもの（複数回答）

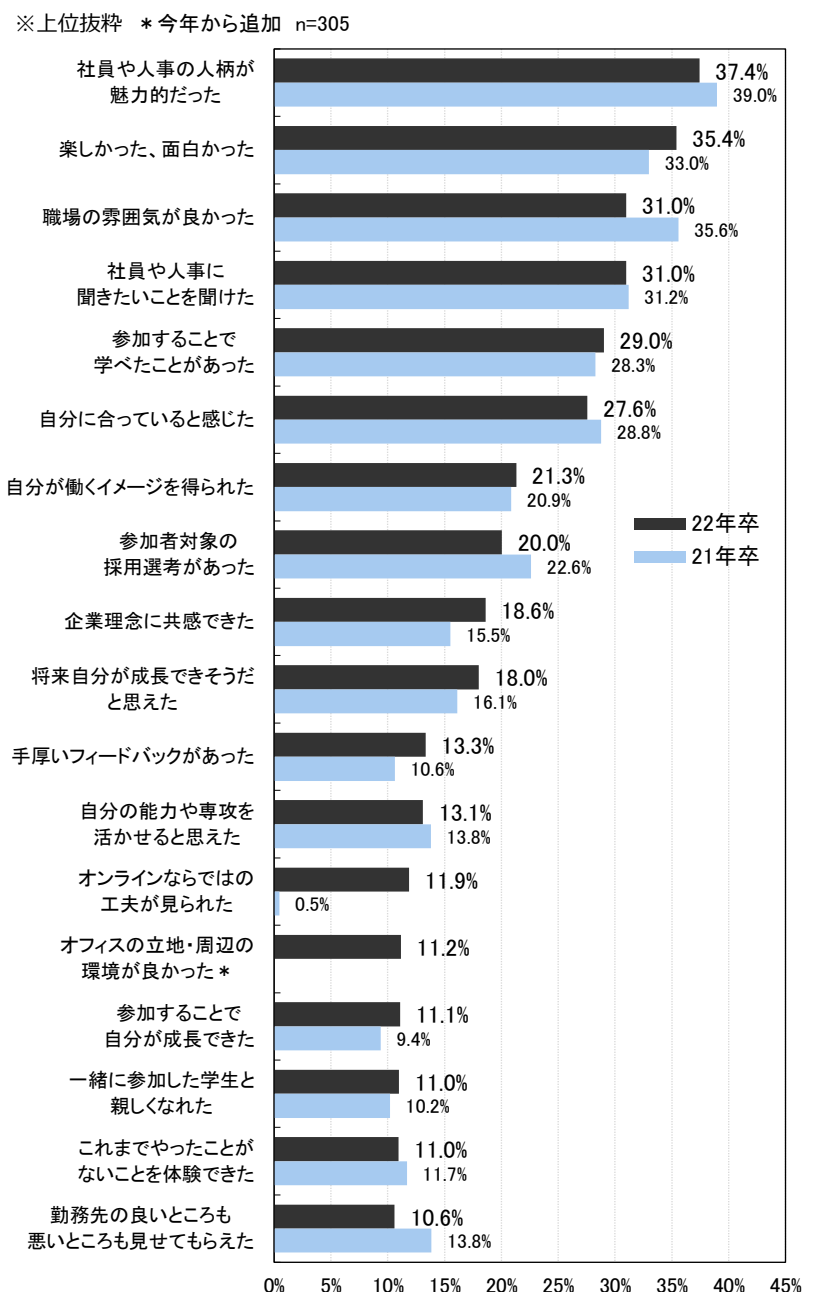
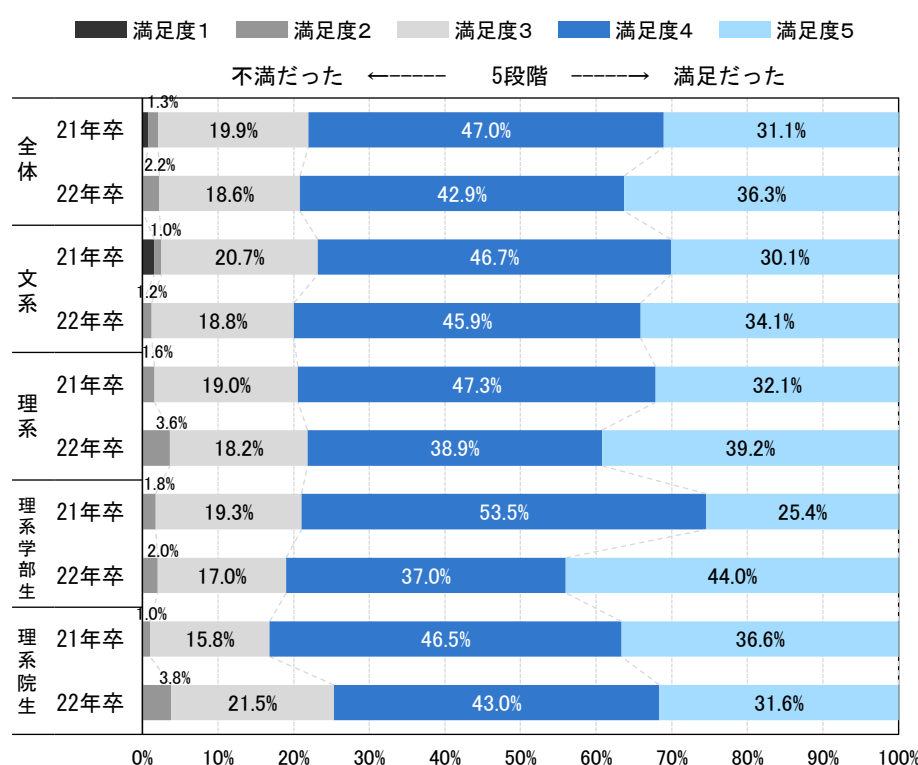
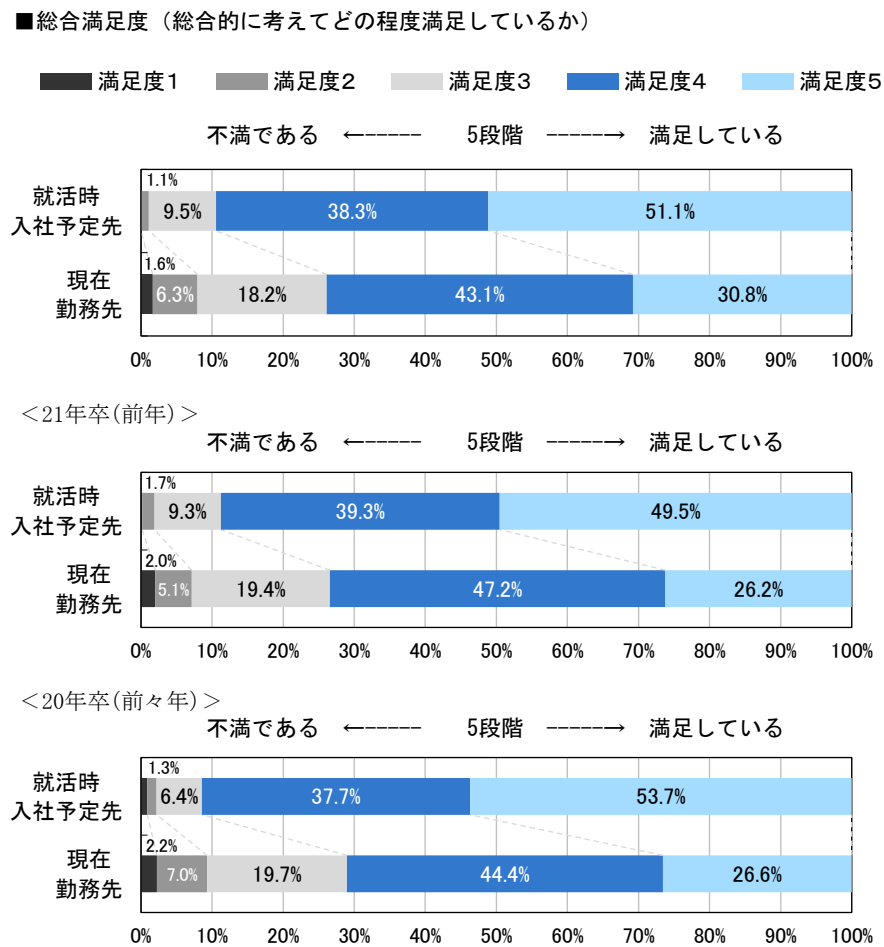


図12 現在の勤務先のインターンシップの満足度 n=305



◆就活時の入社予定先満足度5(最高)は約5割だが、入社半年後の勤務先満足度5は約3割に減少

図13 就活時の入社予定先の満足度と現在の勤務先の総合満足度比較 n=622



勤務先の満足度を5段階で聞き、就職活動時の入社予定先の満足度と比較したところ、前年、前々年に引き続き、満足度5（高い）の割合は就職活動時から現在（入社半年後）にかけて減少し、満足度3以下（低い）の割合は増加した。3年連続で就職活動時より満足度が下がっていることが分かる。今年の上社半年後勤務先満足度5の割合は30.8%（前年比4.6pt増）と前年より高く、就職活動時の満足度5の割合（51.1%）から約6割に減ったことになる。

勤務先満足度が下がった現象について以下の6つの側面から見ていきたい。これら6つの側面はそれぞれ勤務先（入社予定先）の満足度に影響していることが、すでに前年までの分析結果から分かっている。

- 1) 労働条件満足度（給与、福利厚生等についてどの程度満足しているか）
- 2) 能力を活かせるか（大学で学んだこと、資格など、能力を活かせるか）
- 3) 社員の印象と帰属感（その企業が自分に合っていると思えるか）
- 4) 経営者の印象（社長、役員、経営者の印象について）
- 5) 将来のキャリア展望（理想とする将来のキャリアプランを実現できそうか）
- 6) 比較検討（十分な選択肢の中から選べたか）

それぞれの側面について以下の2つの点に着目して分析していく。

- A) レベル5（最高評価）の割合の減少
- B) レベル3以下（低評価）の割合の増加

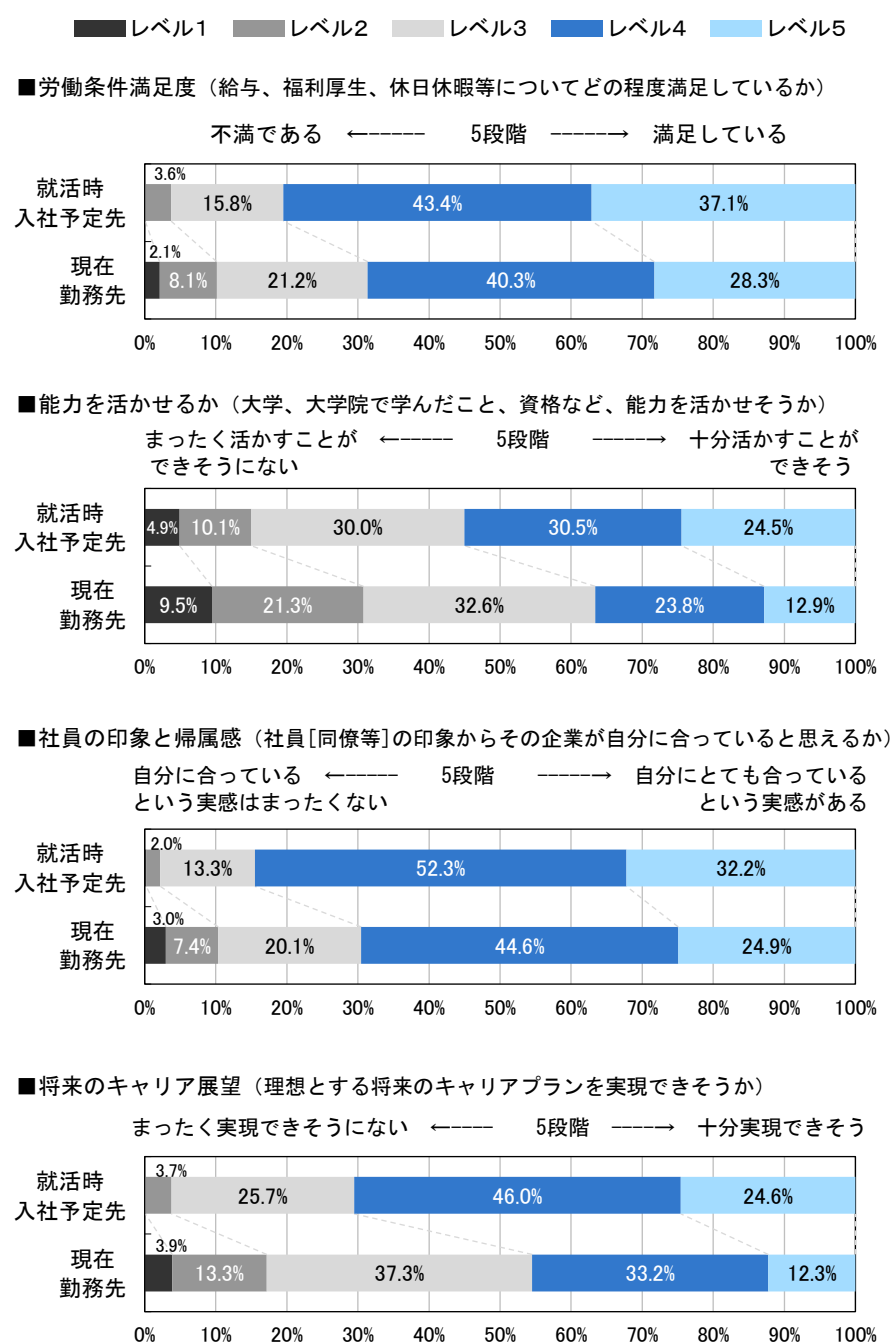
これらはいずれも勤務先満足度が下がることにつながっている。

6つの側面の中で、就職活動時から入社半年後にかけて、最も変化が大きかったのは「将来のキャリア展望（理想とする将来のキャリアプランを実現できそうか）」だった（レベル5（最高評価）12.3pt減少、レベル3以下（低評価）25.0pt増加）。特に低評価の割合が大きく増加している。就職活動時に「理想とする将来の自分が実現できそう」と思って入社を決めたが、入社して半年後には「実現できるのか疑問」になった、というようなことが起こっていると思われる。「将来のキャリア展望」については、11Pで「将来のキャリアプラン実現のための環境が整っているか」と「勤務先満足度」との関係という形で、より具体的に分析する。

次に変化が大きかったのは「経営者の印象（社長、役員、経営者の印象について）」だった（レベル5（最高評価）14.6pt減少、レベル3以下（低評価）16.6pt増加）。就職活動時に「入社予定先のトップ」として漠然と良いイメージを持っていたのが、入社してその人となりに触れる機会があった際、「思っていたより〇〇だった」と多少落胆するようなことがあったと推察される。「経営者の印象」については、14Pで「勤務先の社長にあてはまるもの」を使って「勤務先満足度」との関係进行分析する。

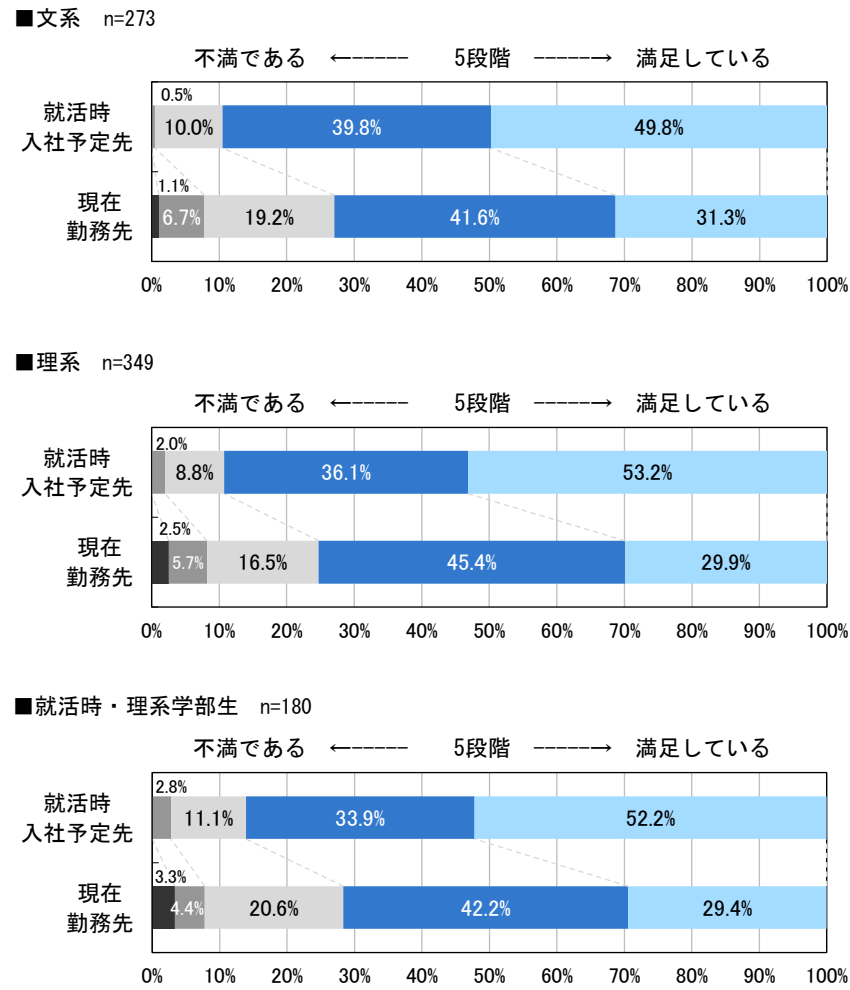
さらに今回の調査では「社員の印象と帰属感（その企業が自分に合っていると思えるか）」についても、12Pで「勤務先の環境とそれが自分に合っているか」と「勤務先満足度」との関係として詳細に分析する。10Pで分析する「勤務先のインターンシップにあてはまるもの」と「勤務先満足度」との関係においても、満足度5（高い）と満足度3以下（低い）で最も割合に差があるものとして「自分に合っていると感じた」が挙がっており、満足度の変化を分析する上でこの要素も非常に重要だと考えられる。

図14 満足度の側面比較・就活時と現在 n=622



◆入社後の満足度は、文理の比較でも理系学部生・院生の比較でも、同様に下がる傾向

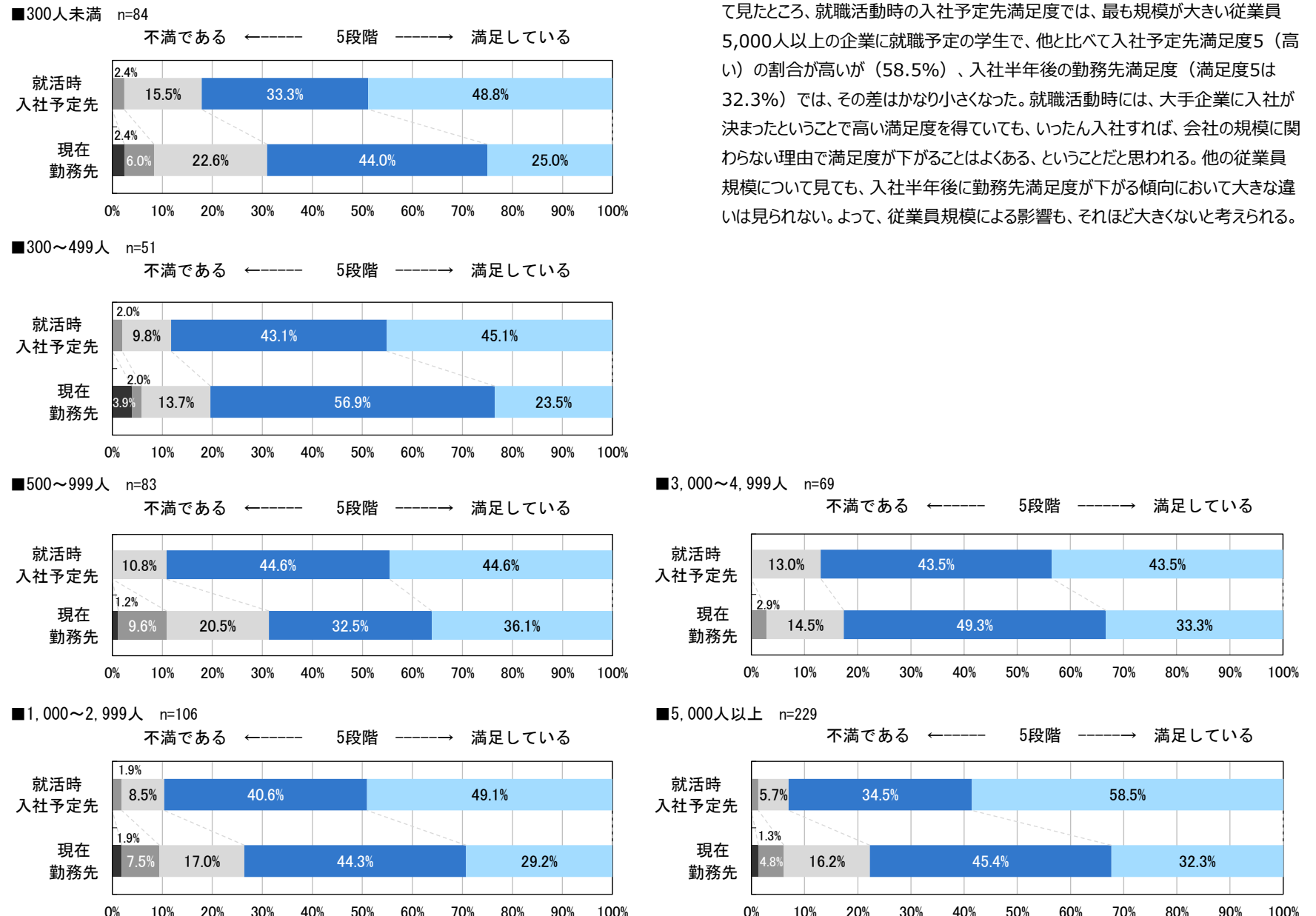
図15 総合満足度比較・文理別 + 理系学部生院生別



「就職活動時に比べて入社後に満足度が下がる傾向」について、文理別に見たところ、いずれも同様に下がっていることが分かった。また、理系について、理系学部生と理系院生に分けて見たところ、理系学部生のほうが満足度3以下（低い）の増加幅（14.4pt増）が比較的大きいが（理系院生では9.5pt増）、おおむね同様に満足度が下がっていた。よって、入社後に満足度が下がる傾向について、文理の違いや、学部生・院生の違いの影響はあまり大きくないと言えそうだ。

◆従業員5,000人以上の満足度5の割合は、就活時は他より高いが、現在の勤務先では差が縮小

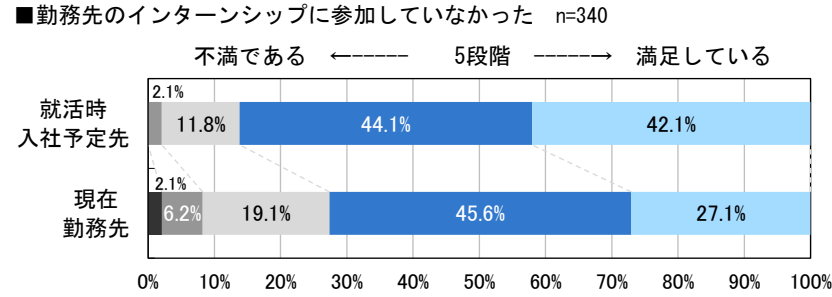
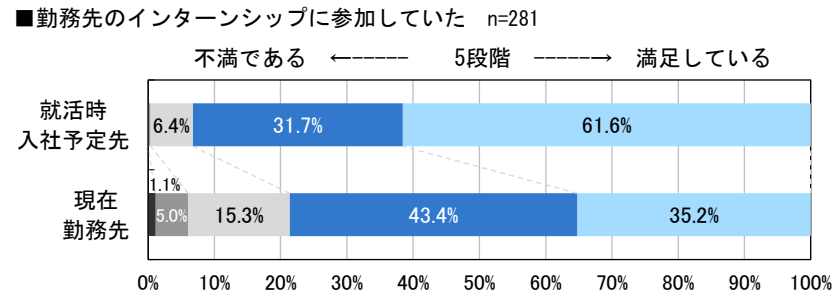
図16 総合満足度比較・勤務先の従業員規模別



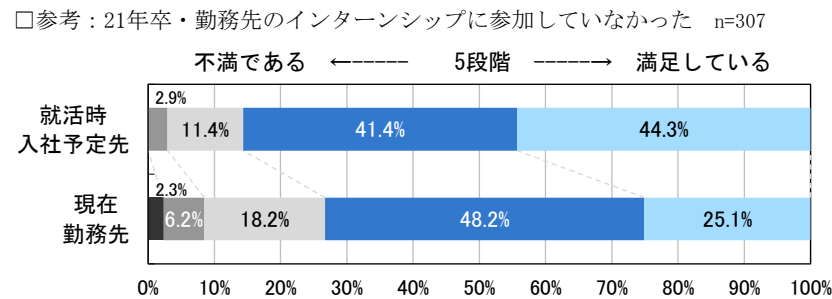
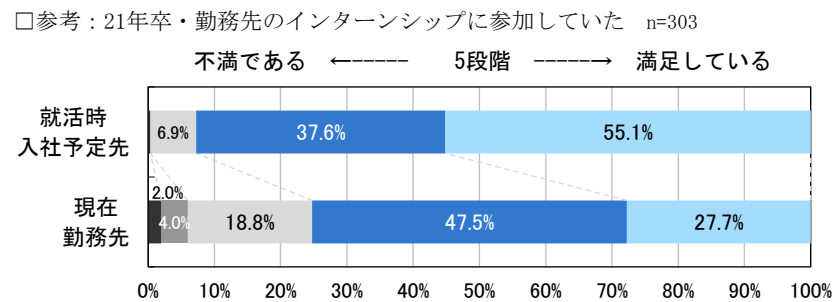
従業員規模別に、「就職活動時に比べて入社後に満足度が下がる傾向」について見たところ、就職活動時の入社予定先満足度では、最も規模が大きい従業員5,000人以上の企業に就職予定の学生で、他と比べて入社予定先満足度5（高い）の割合が高いが（58.5%）、入社半年後の勤務先満足度（満足度5は32.3%）では、その差はかなり小さくなった。就職活動時には、大手企業に入社が決まったということで高い満足度を得ていても、いったん入社すれば、会社の規模に関わらない理由で満足度が下がることはよくある、ということだと思われる。他の従業員規模について見ても、入社半年後に勤務先満足度が下がる傾向において大きな違いは見られない。よって、従業員規模による影響も、それほど大きくないと考えられる。

◆ 勤務先のインターンシップの満足度が5(最高)だった場合、入社後の勤務先満足度はあまり下がらない

図17 総合満足度比較・勤務先のインターンシップ参加・不参加



<21年卒(前年)>



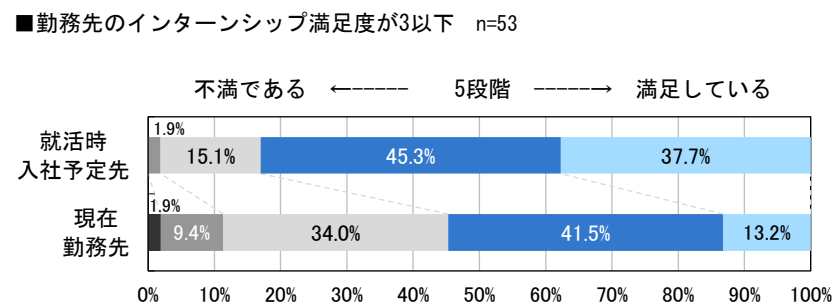
勤務先のインターンシップ(ワンデー仕事体験含む、以下略)に参加していたかどうか、「就職活動時に比べて入社後に満足度が下がる傾向」に影響するか見たところ、インターンシップに参加していた場合も参加していなかった場合も、割合の違いはあるもののいずれも満足度は下がっていた。満足度5(最高)の割合は、就職活動時には「参加していた場合」のほうがかなり高い(参加:61.6%/不参加:42.1%)が、入社後の勤務先満足度ではその差がかなり小さくなっている(参加:35.2%/不参加:27.1%)。なおこの傾向は、前年のデータでも、少々の違いはあるもののおおむね同様だった。よって、勤務先のインターンシップに参加していたかどうか勤務先満足度に与える影響は、あまり大きくないと言えそうだ。

勤務先のインターンシップに参加していた人について、「インターンシップそのものの満足度」が3以下(低い)の場合、インターンシップ満足度4の場合、インターンシップ満足度5(最高)の場合に分けて、それぞれ「就職活動時に比べて入社後に満足度が下がる傾向」を比較した。

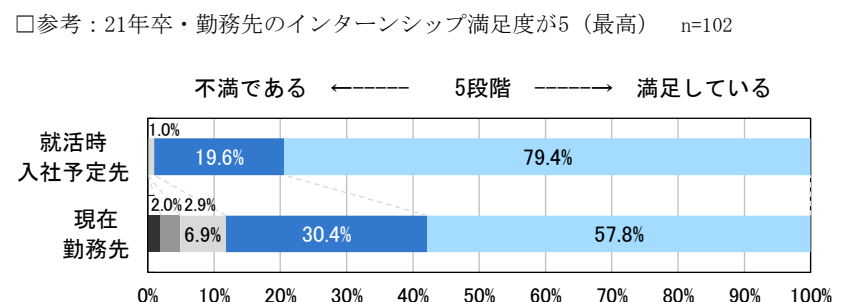
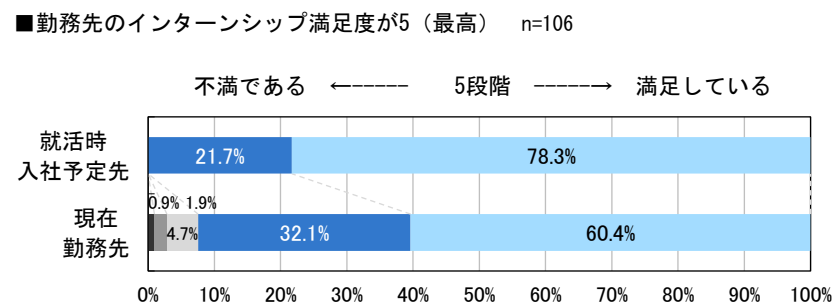
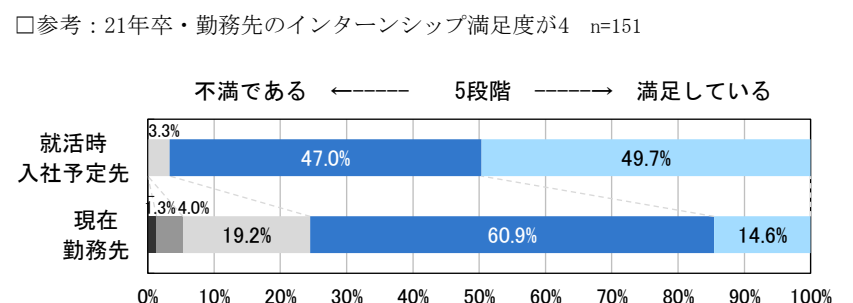
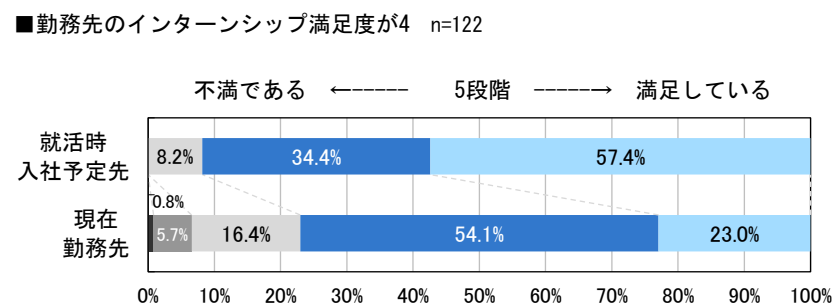
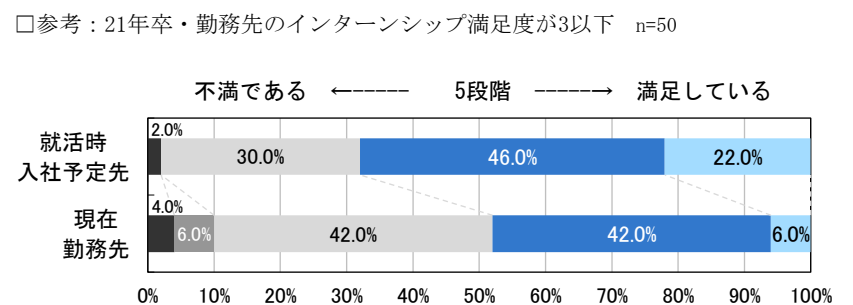
するとインターンシップ満足度5(最高)の場合、他に比べて勤務先満足度の下がり方が小さく、満足度5(最高)の割合の変化は、「就活時:78.3% → 入社半年後:60.4%」と、入社半年後も満足度が高い水準を維持できていた。インターンシップ満足度3以下の場合は「就活時:37.7% → 半年後:13.2%」で約3分の1に減少、インターンシップ満足度4の場合は「就活時:57.4% → 半年後:23.0%」と約4割に減少となっており、その差は歴然としている。

よって、多くのインターンシップに参加し、そのインターンシップの満足度が5(最高)だった企業への入社を実現すれば、入社後も高い満足度をもって勤務できる可能性が高いと言える。なおこの傾向については、前年のデータでも同様の結果が出ており、かなり普遍的であると言える。

図18 総合満足度比較・勤務先のインターンシップ満足度別



<21年卒(前年)>



◆ 勤務先満足度が高い人は勤務先のインターンシップ参加時に「自分に合っている」と思った割合が高い

図19 勤務先満足度別・現在の勤務先のインターンシップのプログラム内容

(複数回答) 満足度5のほうが満足度3以下よりも割合が高い項目順 n=305

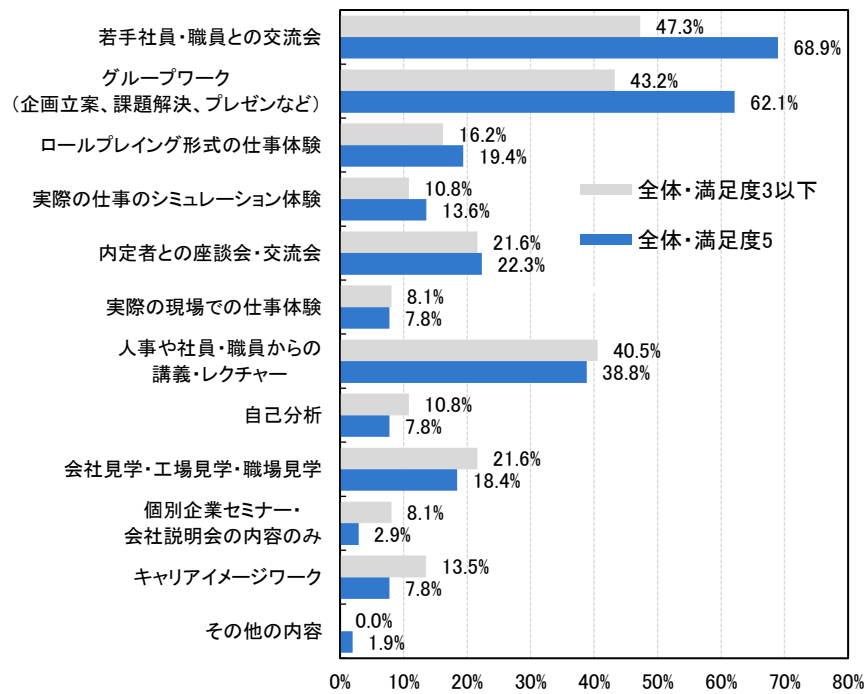
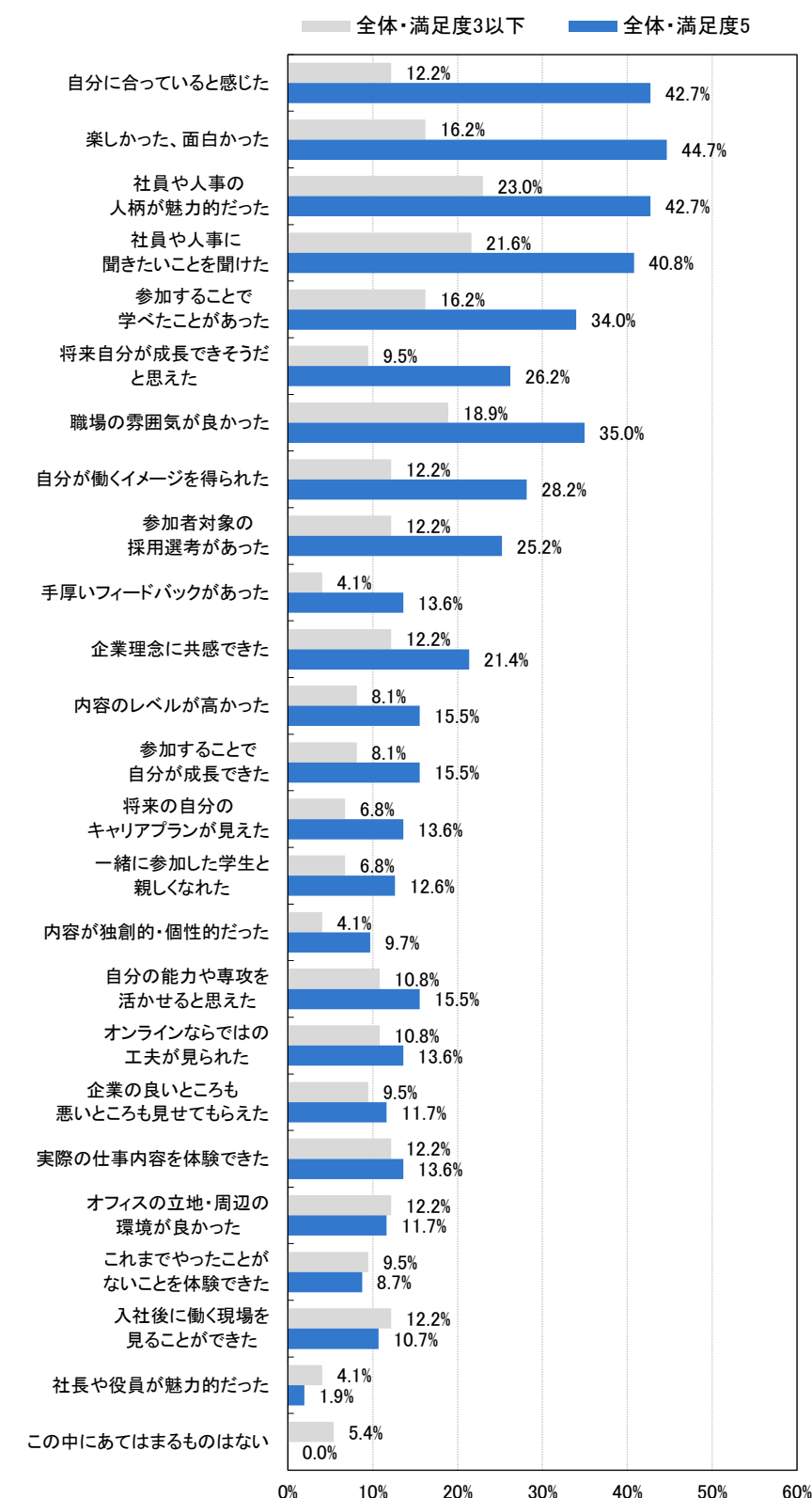


図20 勤務先満足度別・現在の勤務先のインターンシップにあてはまるもの (複数回答)

満足度5と満足度3以下の差が大きい順 n=305



ここまでの分析で、「勤務先のインターンシップの満足度」が、それから約2年経過した「入社半年後の勤務先満足度」に大きく影響することが分かった。では、どのようなインターンシップに参加していた場合、入社半年後の満足度が高いのだろうか。そこで、勤務先満足度が3以下の人（低い人）と、勤務先満足度が5の人（高い人）で、現在の勤務先のインターンシップの「プログラム内容」や「あてはまるもの（インターンシップに参加した印象や成果等）」に差があるのか、それぞれ比較してみた。

まず、「プログラム内容」について、満足度5（高い）のほうが満足度3以下（低い）より明らかに高い割合なのは「若手社員・職員との交流会（21.6pt差）」と「グループワーク（18.9pt差）」だった。この2つはいずれも新入社員が参加したことがある割合が高く（6P）、比較的多く実施されている。そのためプログラムの改善が進んで、勤務先満足度につながる内容が提供できていることが多いのかもしれない。逆に、参加割合が低い「キャリアイメージワーク（-5.7pt差）」や、仕事体験の要素が含まれない「個別企業セミナー・会社説明会の内容のみ（-5.2pt差）」は、満足度3以下（低い）の割合が満足度5（高い）の割合を上回った。

次に「あてはまるもの」の方を見ると、満足度5（高い）と満足度3以下（低い）の差はより大きくなり、最も差が大きかった「自分に合っていると感じた」では、満足度5（高い）は42.7%、満足度3以下（低い）は12.2%と30.5pt差がついた。また、理系（40.5pt差）のほうが文系（18.9pt差）よりこの差が大きかった。勤務先が「自分に合っている」とこと勤務先満足度の関係については、12Pでさらに深く分析する。次に満足度5（高い）と満足度3以下（低い）の差が大きかったのは「楽しかった、面白かった（28.5pt差）」だった。また、文系では「職場の雰囲気が良かった（21.6pt差）」、理系では「社員や人事の人柄が魅力的だった（27.5pt差）」で、この差が比較的大きく表れた。よって、インターンシップにおけるこういった要素が、勤務先満足度の高さにつながっていると考えられる。

図21 文系・勤務先満足度別・勤務先のインターンシップにあてはまるもの

(複数回答) 満足度5と満足度3以下の差が大きい順 ※上位抜粋 n=126

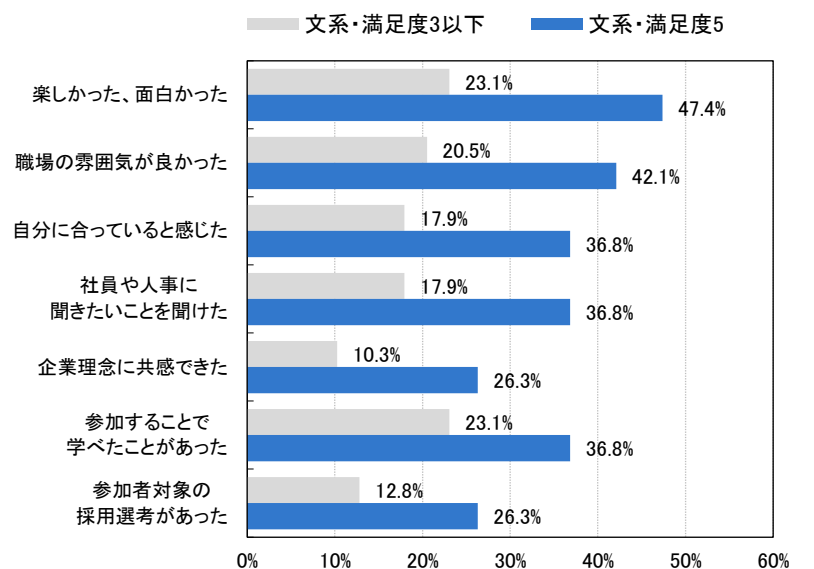
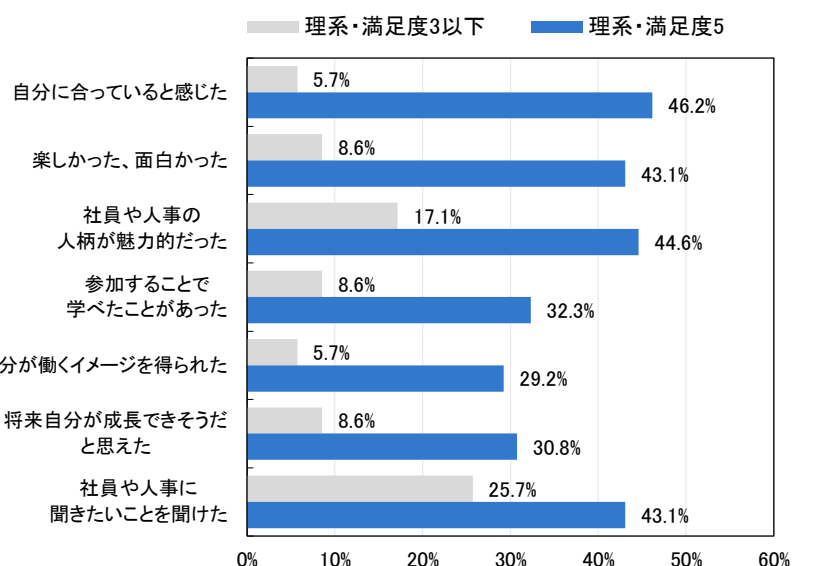


図22 理系・勤務先満足度別・勤務先のインターンシップにあてはまるもの

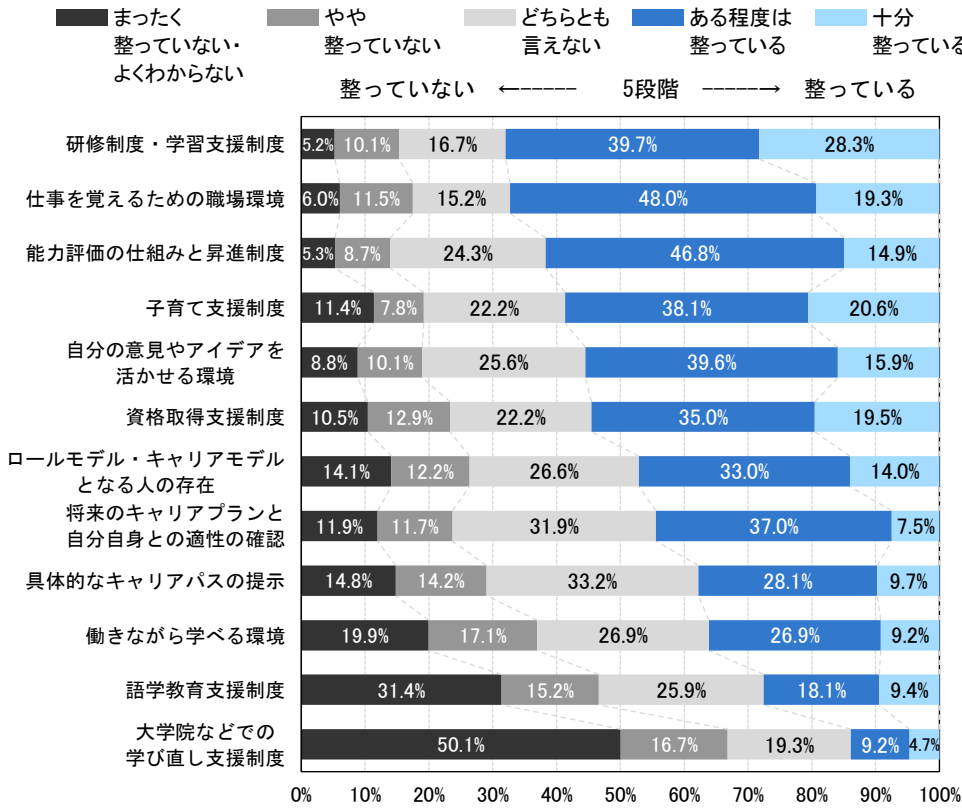
(複数回答) 満足度5と満足度3以下の差が大きい順 ※上位抜粋 n=179



◆満足度が高い新入社員の職場は、将来のキャリアプラン実現のための環境が、より多くの面で整っている

図23 理想とする将来のキャリアプランを実現するための環境が整っているか n=763

「(十分+ある程度は) 整っている」割合が高い項目順



勤務先の満足度と、理想とする将来のキャリアプランの実現可能性との関係性を調べるため「実現するための職場環境がどの程度整っているか」に着目して調査を行った。12項目の「職場環境」は以下の4つの側面を想定して設定している。

- 1) 具体的なスキルアップを支援する制度
研修・学習支援、資格取得支援、語学教育支援、学び直し支援
- 2) 能力向上のためのモチベーションを向上させる仕組み
評価の仕組みと昇進制度、ロールモデルの存在、具体的なキャリアパスの提示
将来のキャリアプランと自分自身との適性の確認
- 3) 能力向上につながる職場環境
仕事を覚えるための環境、意見やアイデアを活かせる環境
- 4) 能力向上に注力できる環境やその環境を整える支援
働きながら学べる環境、子育て支援制度

それぞれの項目について、自分の職場が「まったく整っていない・わからない」から「十分整っている」まで5つの段階のどれにあてはまるか回答してもらった。そのうち「十分整っている」または「ある程度整っている」と回答した割合と、勤務先満足度との関係を分析した。

その結果、勤務先満足度が5の人（高い人）は平均8.0個の環境が整っており、満足度が3以下の人（低い人）の平均3.1個と比べ、大きな差があった。より多くの面で職場の環境が整うことにより、理想とする将来のキャリアプラン実現可能性が高いことを自覚し、それが勤務先の満足度の高さにつながっていると言える。

項目別に見ると、勤務先満足度5と満足度3以下で最も大きな差があったのは「自分の意見やアイデアを活かせる環境（53.0pt差）」で、満足度5の人の職場では8割以上が「整っている」と回答した。職場において、自ら創意工夫し、提案し、実現していくことで、理想の将来に向けて日々成長していることを実感できるのだと思われる。この項目はまた、文系で勤務先満足度5の人と3以下の人の差が最も大きかった。

理系で勤務先満足度での差が最も大きかったのは「将来のキャリアプランと自分自身との適性の確認（56.0pt差）」だった。将来に向けて、まずは自らの適性を確認することが、勤務先の満足度につながるということである。これは、就職活動の選考時に主に理系学生に対して行われる「ジョブマッチング」のように、入社後の研修や配属においても適性の確認が行われることを示していると思われる。それによって将来の方向性がより明確になり、勤務先の満足度の高さにつながるのだろう。

そのほか文理とも勤務先満足度5と満足度3以下の割合の差が大きかったのが「ロールモデル・キャリアモデルとなる人の存在（52.9pt）」である。これについては16Pでも「勤務先に目標となる何人かいるか」という観点で分析を試みている。

図24 勤務先満足度と将来のキャリアプラン実現のための環境が

「(十分+ある程度は) 整っている」割合の関係 n=763

満足度5と満足度3以下の差が大きい順

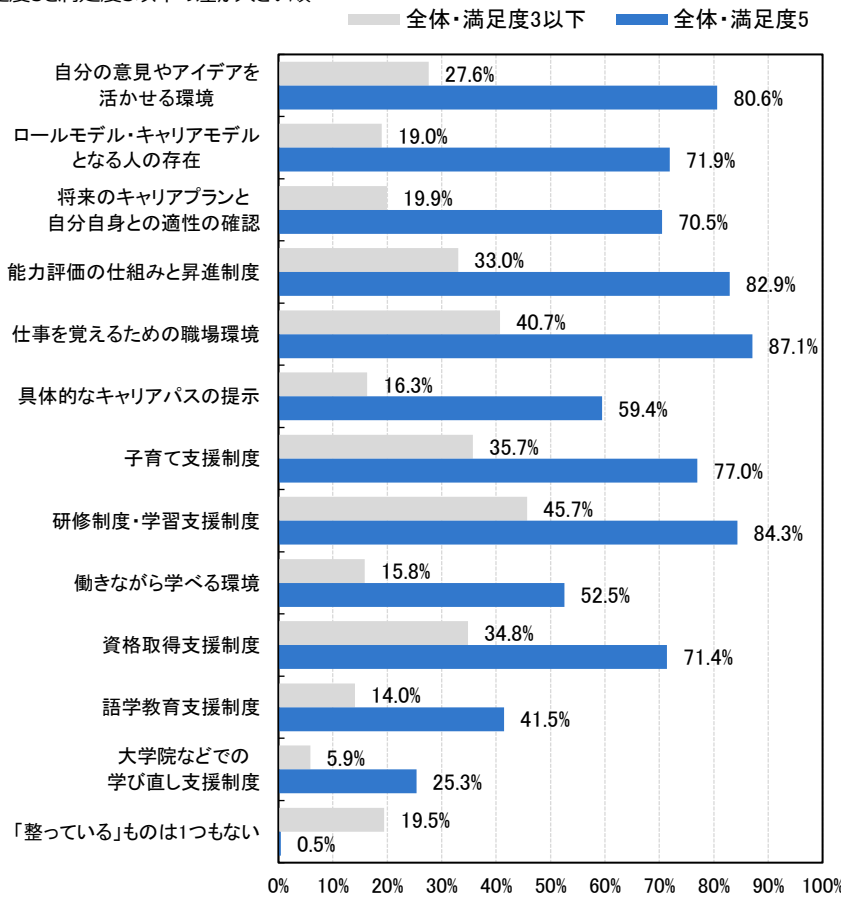


図26 文系・勤務先満足度と将来のキャリアプラン実現のための環境の関係

(複数回答) 満足度5と満足度3以下の差が大きい順 ※上位抜粋 n=357

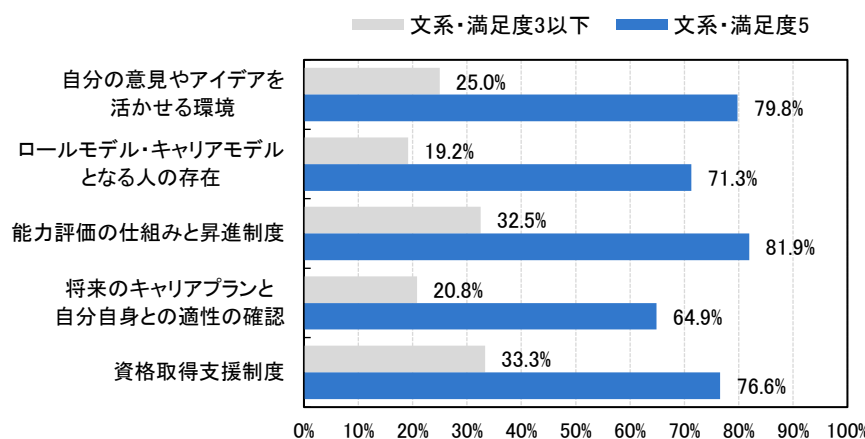


図25 「(十分+ある程度は) 整っている」数・平均 n=763

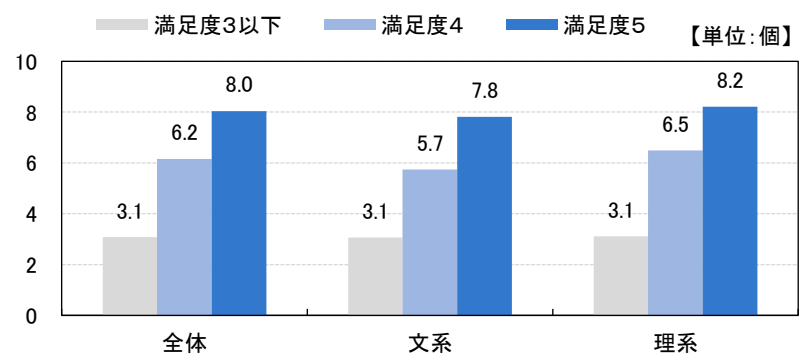
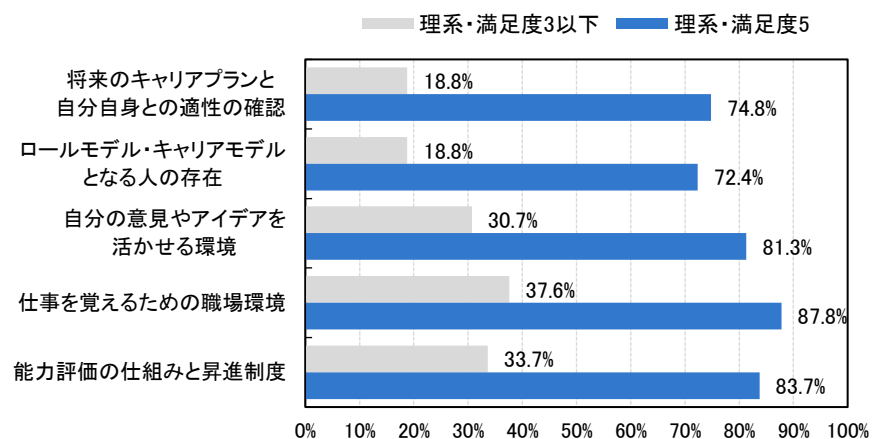


図27 理系・勤務先満足度と将来のキャリアプラン実現のための環境の関係

(複数回答) 満足度5と満足度3以下の差が大きい順 ※上位抜粋 n=406



◆ 勤務先満足度が高いと環境が自分に合っている数が多いが、合っていても満足度につながらない場合も

図28 勤務先の環境と、その環境が自分に合っているかどうか n=763

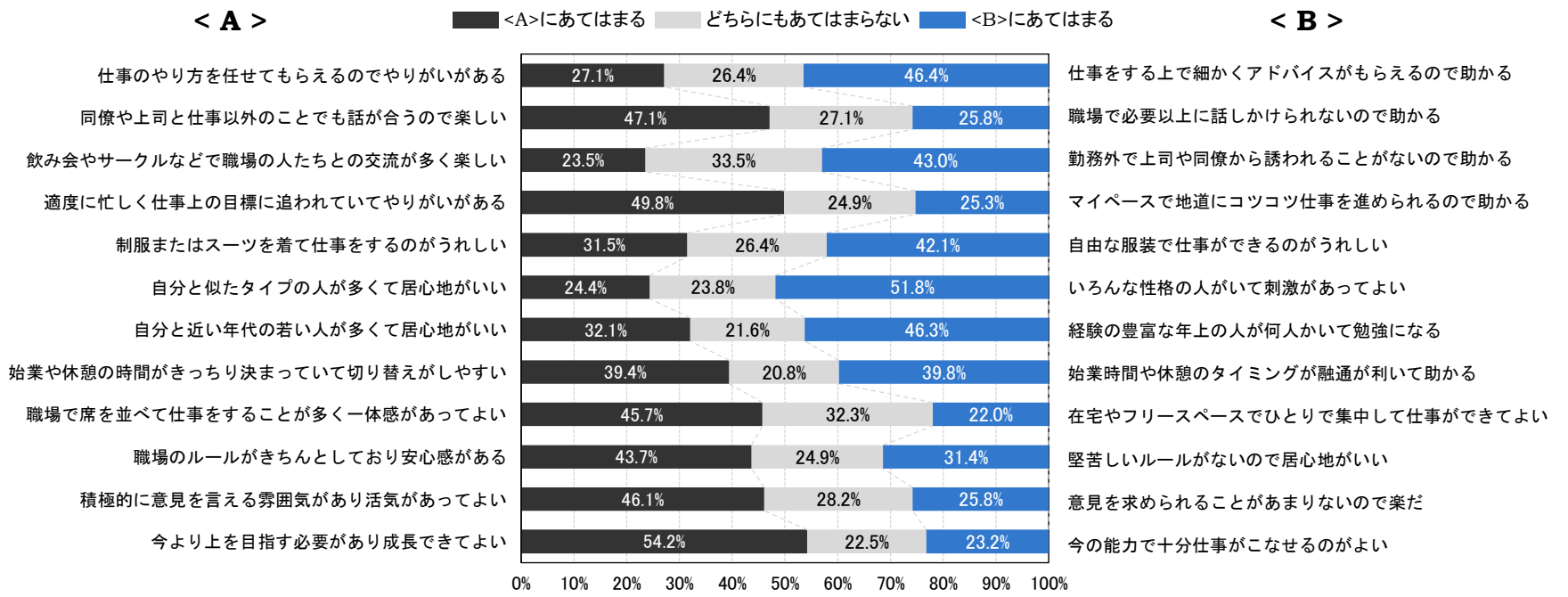
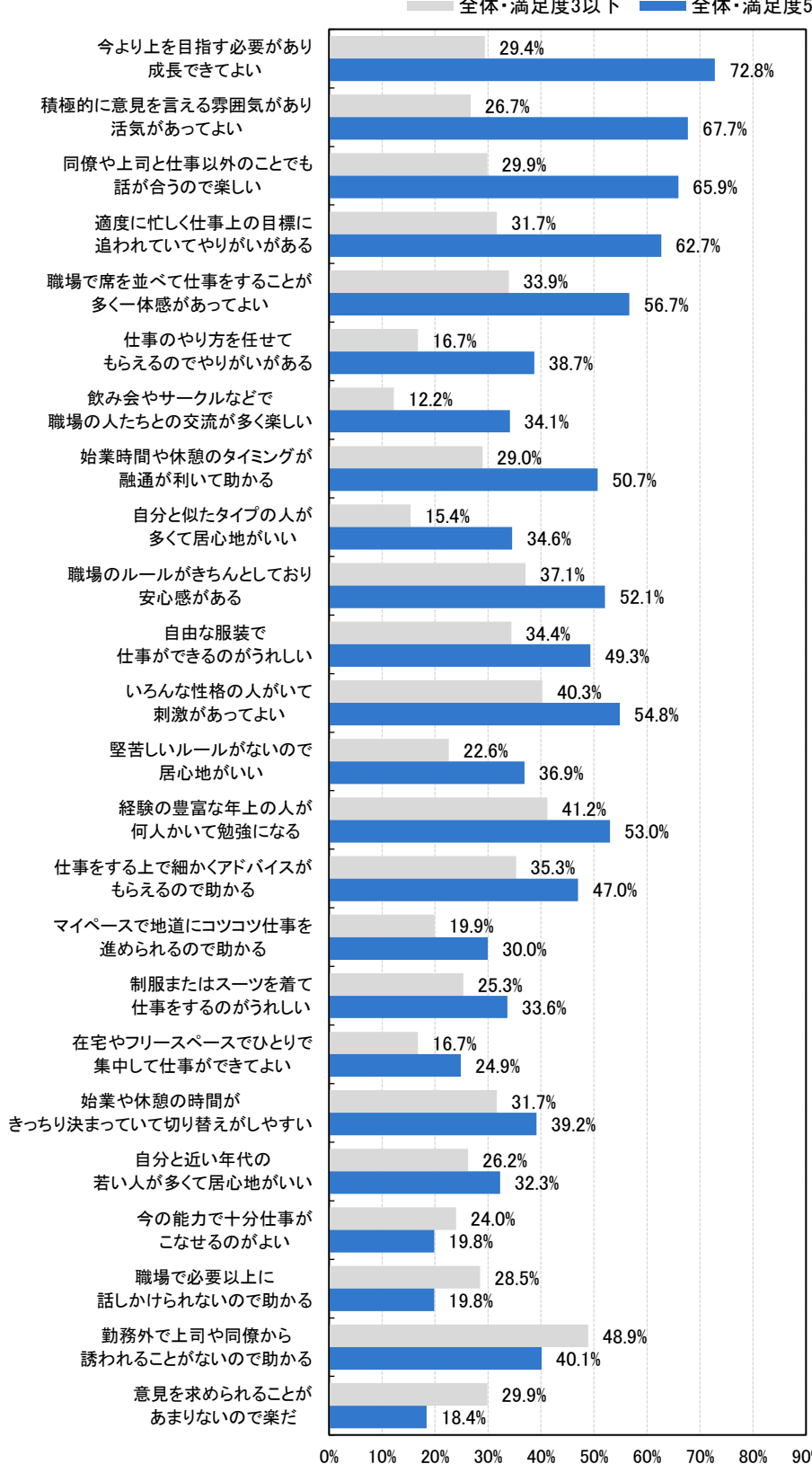


図29 勤務先満足度と環境が自分に合っているかどうかの関係 n=763

満足度5のほうが満足度3以下より割合が高い順



「自分に合っているかどうか」は勤務先満足度の重要な要素の1つで、「自分に合っている」と思えるほど勤務先満足度は高い」という関係がある。例えば、勤務先満足度5の人（高い人）は勤務先のインターンシップに参加した際、「自分に合っている」と思った割合が高い(10P)。では「満足度につながる『自分に合っている』状態」とは具体的にどういったものを指すのだろうか。そこで様々な「職場の環境」の側面について、12パターン「A/B・正反対の状況」を想定し、「あなたの職場はどのどちらに該当するか」および「その環境が自分に合っていると思うか」を回答してもらった。なお「自分に合っていない」場合は「どちらにもあてはまらない」を選ぶこととした。

まずは勤務先の満足度と、12パターンのうち「自分に合っている」数の関係についてだが、AまたはBにあてはまる場合を自分に合っているとした場合、勤務先満足度5の人（高い人）の「自分に合っている」数は平均10.4個であるのに対し、満足度3以下の人（低い人）は平均6.9個と差がついた。よって勤務先満足度が高い人は、より多くの面で「自分に合っている」と感じられる職場にいることがわかった。

続いて個々の「自分に合っている」環境について見ていくと、満足度5（高い）と満足度3以下（低い）で最も大きな差がついたのは「今より上を目指す必要があり成長できてよい（43.4pt差）」で、勤務先満足度5の人の7割以上が、これに該当する環境にあり、かつ、それが「自分に合っている」と感じていることが分かった。ちなみにこれは反対の環境である「今の能力で十分仕事ができるのがよい（-4.2pt差）」が自分に合っているという人の割合は、勤務先満足度3以下の人（低い人）では24.0%、勤務先満足度5の人（高い人）では19.8%で、満足度が低い人のほうが割合が高い。よってこのケースでは「自分に合っている」ことが勤務先満足度の高さにつながることはないことになる。同様に「積極的に意見を言える雰囲気（41.0pt差）」が自分に合っている割合は、勤務先満足度5の人（高い人）のほうが高いが、その反対の「意見を求められることがあまりない（-11.5pt差）」が自分に合っている割合は、勤務先満足度3以下の人（低い人）のほうが高くなっている。

これらの結果から考えると「仕事の上で自分の成長につながる環境」や「コミュニケーションが密な環境」が「自分に合っている」ケースは、勤務先満足度の高さにつながっているのだが、「仕事の上で現状維持な環境」や「コミュニケーションが少ない環境」が「自分に合っている場合」は、勤務先満足度の高さにつながらないと言えそうだ。なお、文理別に見ると、この傾向は理系のほうが文系より強いと言える結果となっている。

図30 「自分に合っている」数・平均 n=763

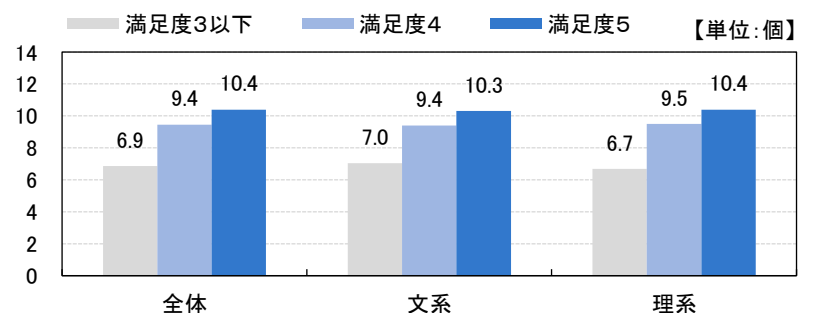


図31 文系・勤務先満足度と環境が自分に合っているかどうかの関係

満足度5のほうが満足度3以下より割合が高い順 n=357

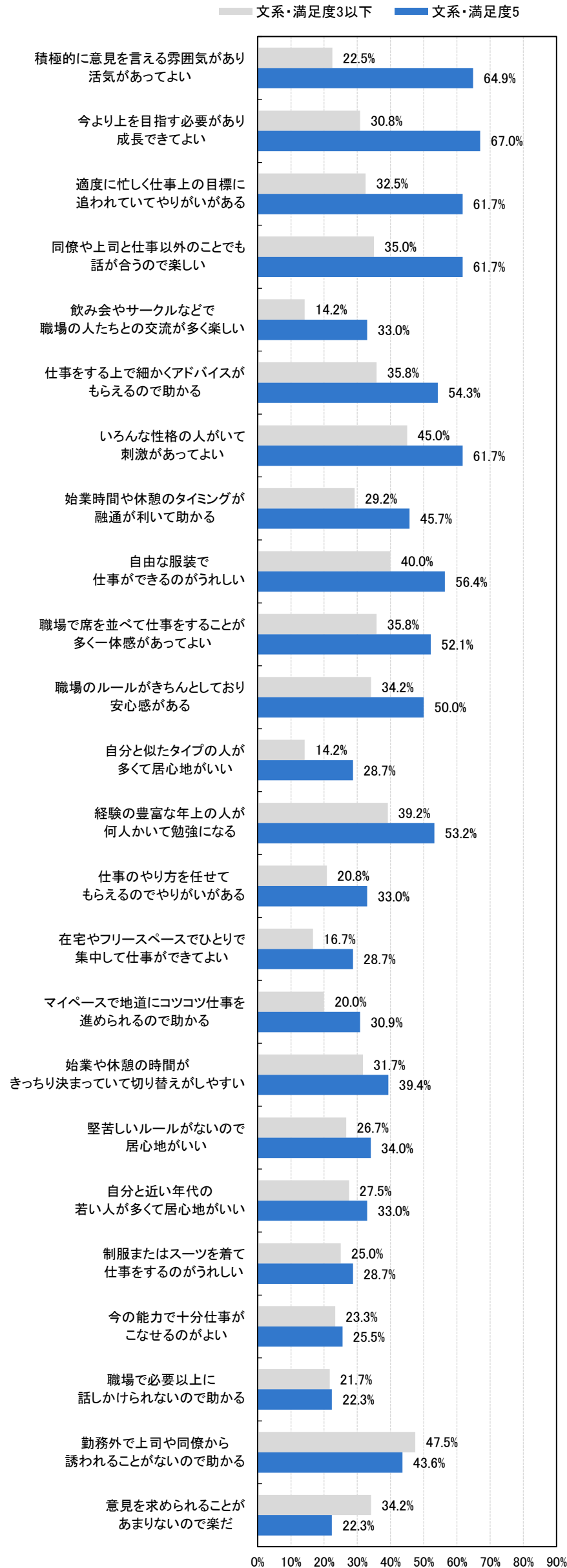
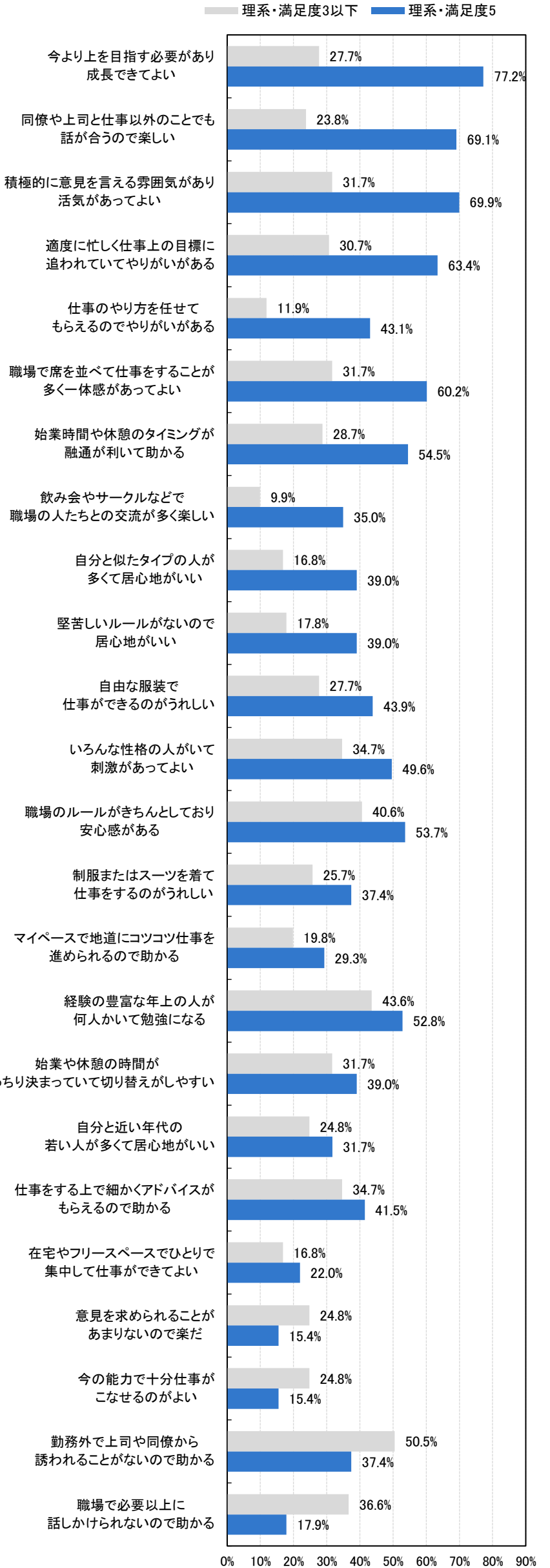


図32 理系・勤務先満足度と環境が自分に合っているかどうかの関係

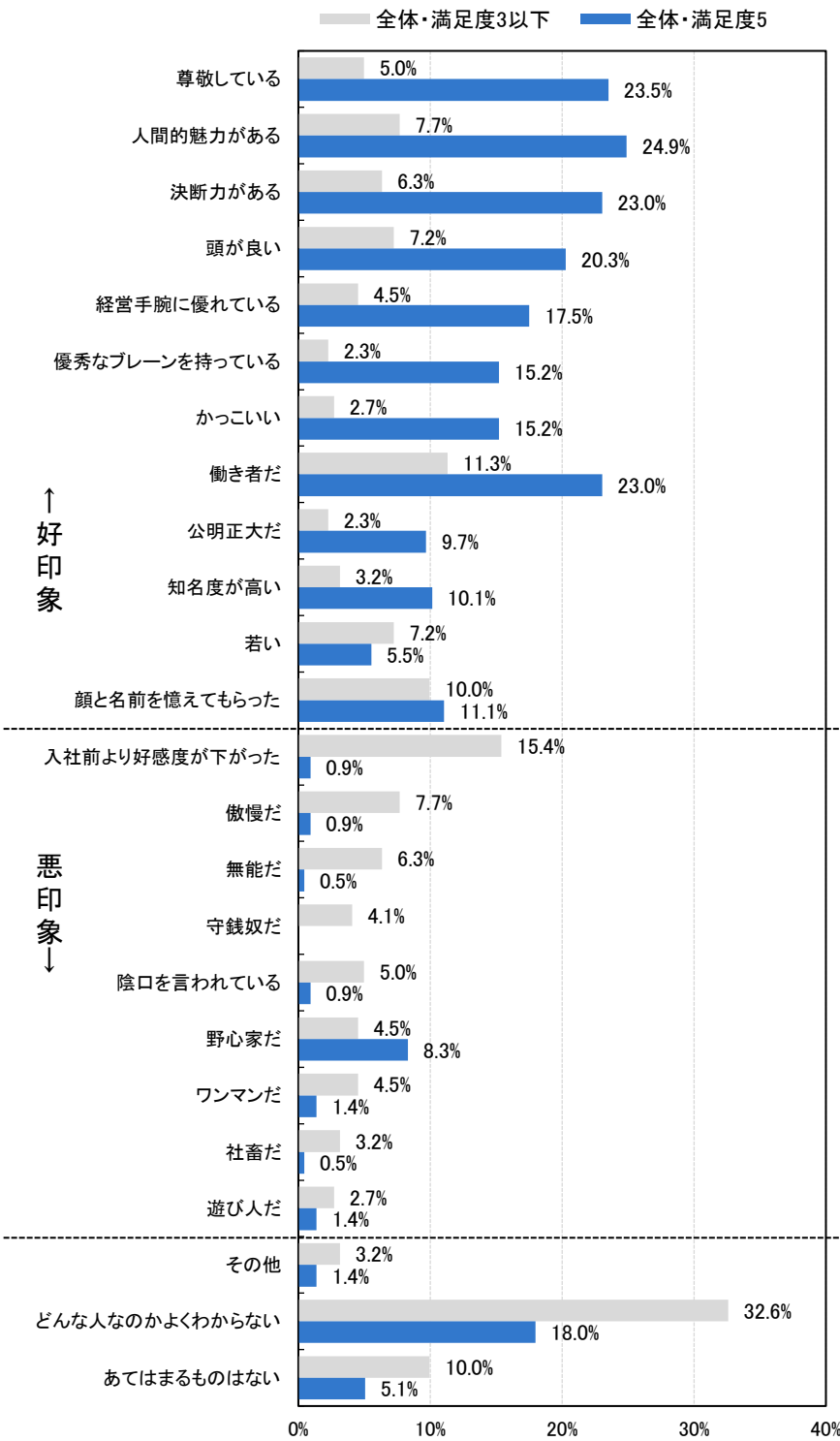
満足度5のほうが満足度3以下より割合が高い順 n=406



◆ 勤務先満足度が高い人は、勤務先の社長にあてはまる好印象の数が多く、悪印象の数が少ない

図33 勤務先満足度と「勤務先の社長、首長、経営者にあてはまるもの」との関係

(複数回答) 好印象・悪印象それぞれで満足度5と満足度3以下の差が大きい順 n=763



「勤務先の社長や経営者の印象」も勤務先の満足度に関わっていることが分かっており、「社長や経営者の印象が良いほど、勤務先の満足度は高い」という関係がある。では、「社長や経営者」について、勤務先満足度が高い場合はどのような印象を持つ割合が高く、逆に勤務先満足度が低い場合はどのような印象を持つ割合が高いのだろうか。そこで、「社長や経営者」にあてはまる「好印象」を12個、「悪印象」を9個挙げて、それぞれあてはまるものを選んでもらい、あてはまる割合と勤務先満足度の関係を分析した。

その結果、勤務先満足度5の人（高い人）は勤務先満足度3以下の人（低い人）に比べ、平均で、あてはまる「好印象」の数が多く、あてはまる「悪印象」の数が少なかった。

なお、個別の「好印象」で、勤務先満足度5のあてはまる割合のほうが高く、勤務先満足度3以下の割合と差がついたのは「尊敬している（18.5pt差）」で、次が「人間的魅力がある（17.2pt差）」だった。一方、個別の「悪印象」については、全体的にあてはまる割合が低く、10%以下のものがほとんどで、「勤務先の社長や経営者」にこのような「悪印象」を持つ人の割合自体が低いようだ。

また、そもそも評価をしようにも「どんな人なのかよくわからない」という割合は、勤務先満足度3以下の人（低い人）では32.6%と高く、満足度5の人（高い人）の18.0%と比べ大きな差がついた。

図34 「好印象」の選択数・平均 n=763

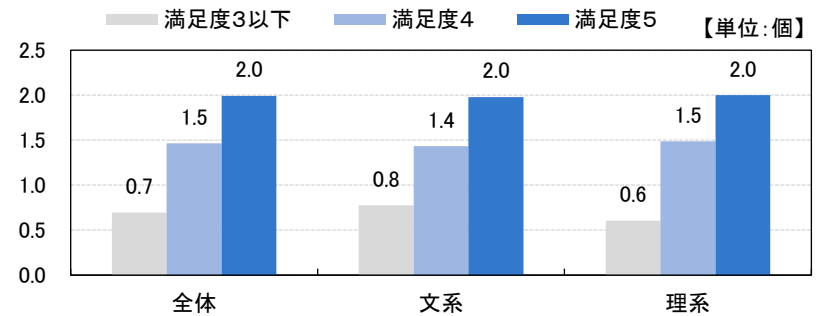


図35 「悪印象」の選択数・平均 n=763

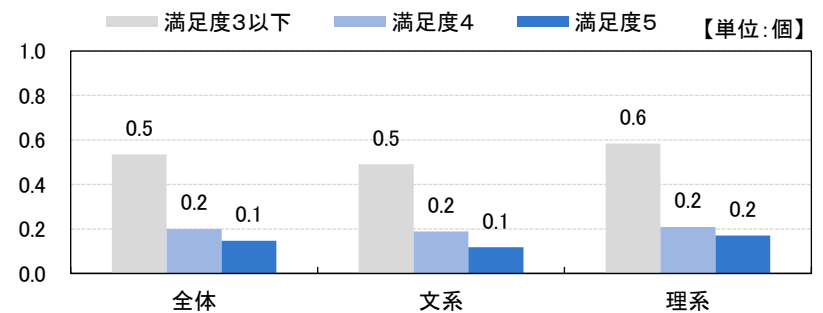


図36 文系・勤務先満足度と「勤務先の社長等にあてはまるもの」との関係

(複数回答) 満足度5と満足度3以下の差が大きい順 ※上位抜粋 n=357

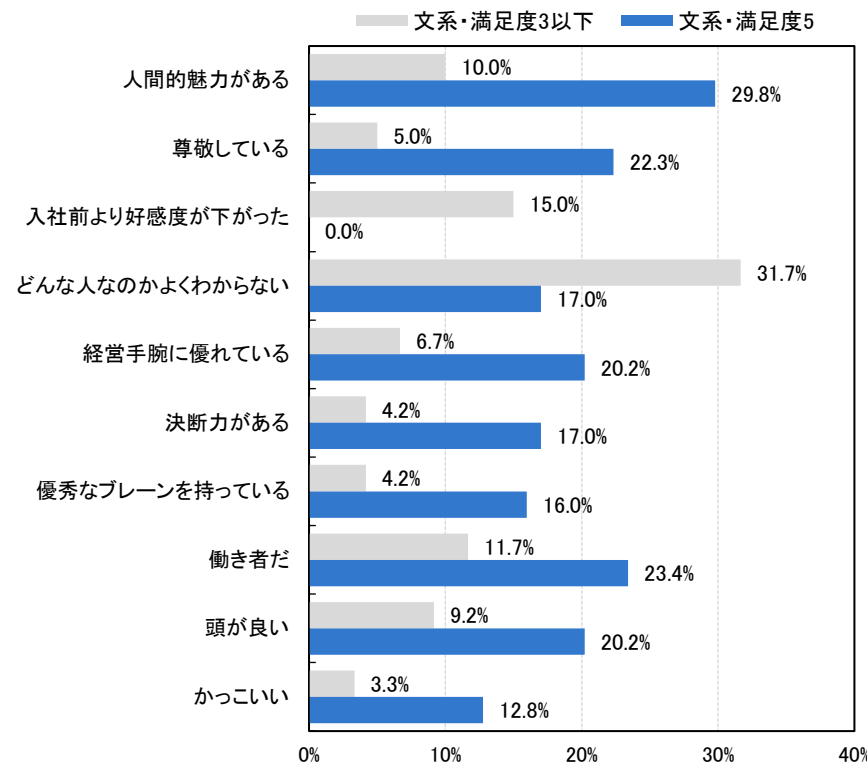
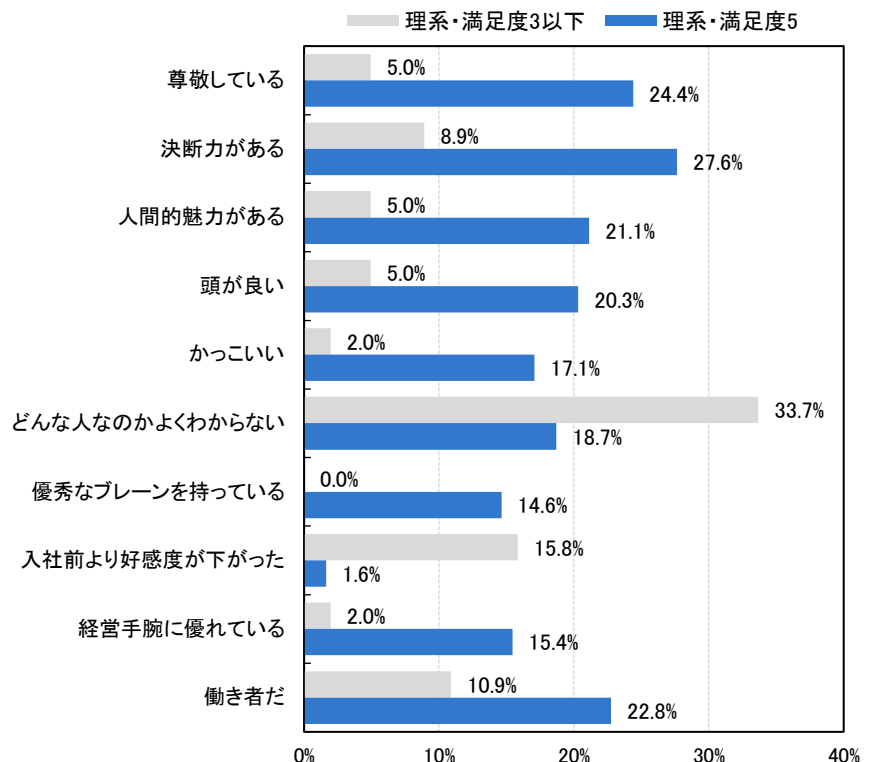


図37 理系・勤務先満足度と「勤務先の社長等にあてはまるもの」との関係

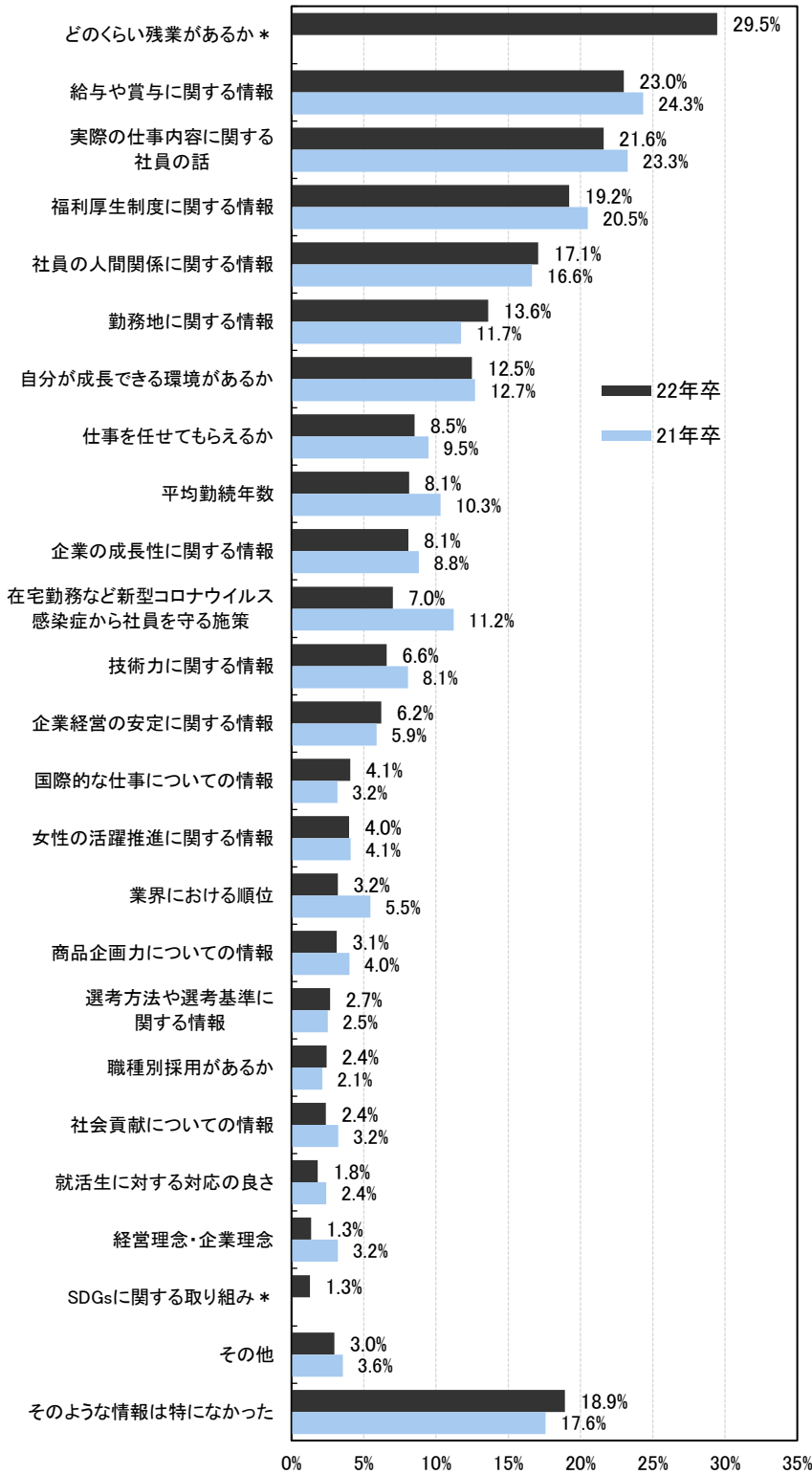
(複数回答) 満足度5と満足度3以下の差が大きい順 ※上位抜粋 n=406



◆ 就職活動時に知っておけばよかったと思うものは「どのくらい残業があるか」が最も高く約3割

図38 入社して初めて分かった情報で、就職活動時に知っておけばよかったと思うもの

<前年比> (複数回答) n=760 *今年から追加



入社して初めて分かった情報で、就職活動時に知っておけばよかったと思うものを聞いたところ、今年初めて選択肢に追加した「どのくらい残業があるか」が29.5%と最も高い割合となった。次に割合が高かったのは「給与や賞与に関する情報（23.0%、前年比1.3pt減）」で、その次が「実際の仕事内容に関する社員の話（21.6%、前年比1.7pt減）」だった。

勤務先満足度が満足度5の人（高い人）と満足度3以下の人（低い人）で、「就職活動時に知っておけばよかったと思うもの」の割合を比較したところ、おおむね満足度3以下（低い）のほうが割合が高く、「知っておけばよかったと思うほど、勤務先満足度は低くなるようだ。満足度が満足度5の人（高い人）と満足度3以下の人（低い人）の差が最も大きかったのは、「実際の仕事内容に関する社員の話（15.6pt差）」で、次が「どのくらい残業があるか（14.6pt差）」、その次が「自分が成長できる環境があるか（11.6pt差）」だった。

文理別で見ると、文系では最も差が大きかった順に「実際の仕事内容に関する社員の話（20.4pt差）」「自分が成長できる環境があるか（17.2pt差）」「どのくらい残業があるか（16.7pt差）」だったが、理系では「勤務地に関する情報（16.5pt差）」「社員の人間関係に関する情報（13.4pt差）」「給与や賞与に関する情報（11.9pt差）」で、文系と理系で大きな違いが見られる結果となった。

図39 勤務先総合満足度と知っておけばよかった情報の関係

(複数回答) 満足度5と満足度3以下の差が大きい順 ※上位抜粋 n=760

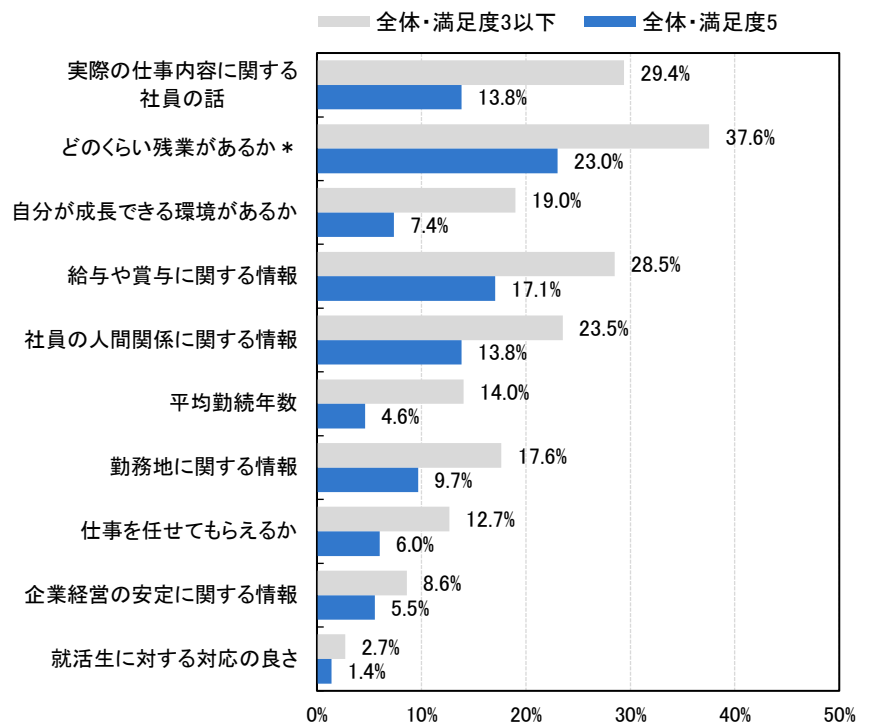


図40 文系・勤務先総合満足度と知っておけばよかった情報の関係

(複数回答) 満足度5と満足度3以下の差が大きい順 ※上位抜粋 n=355

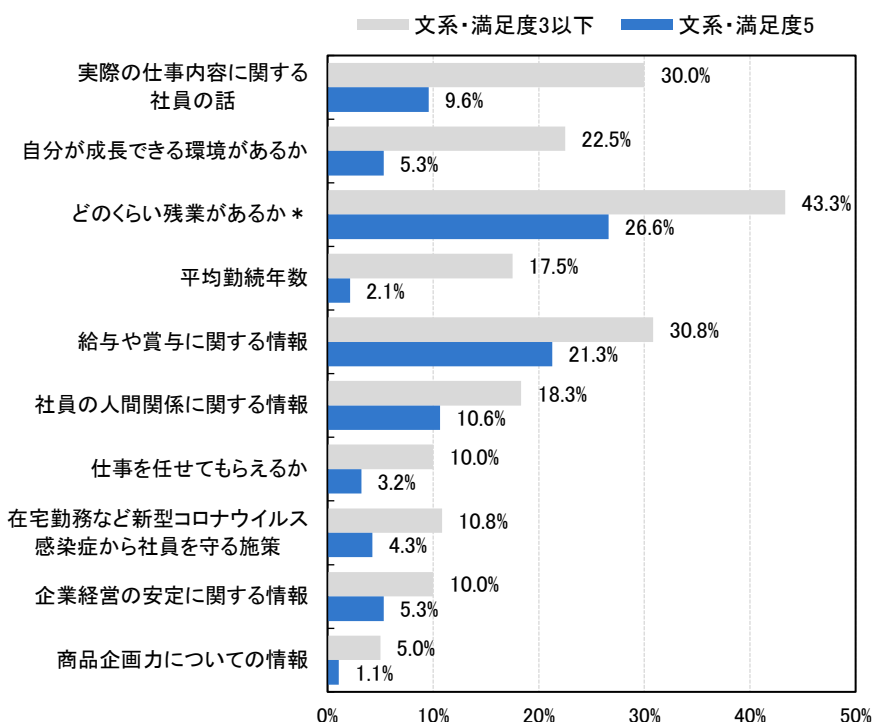
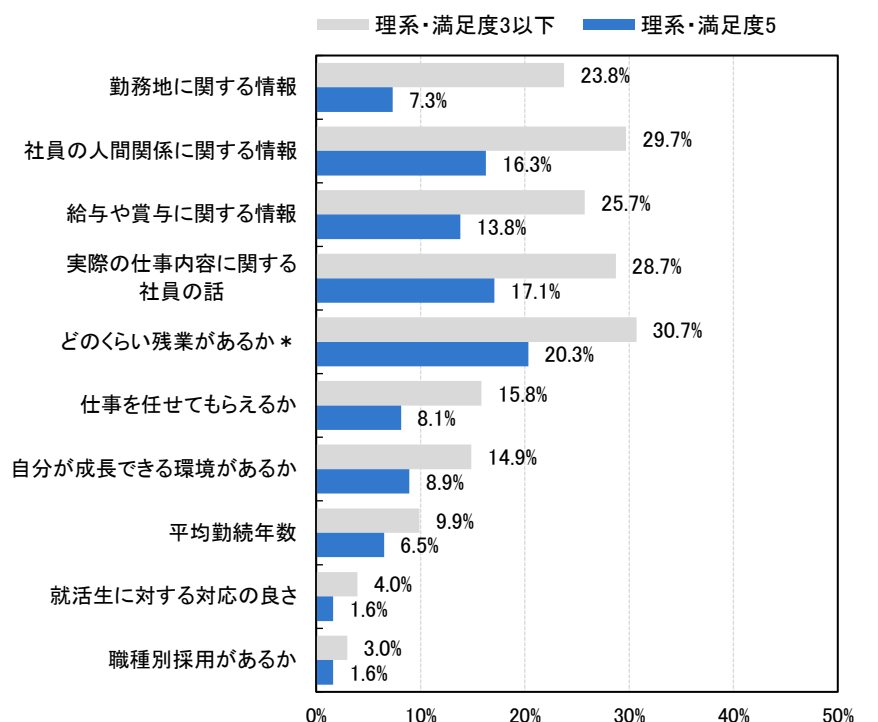


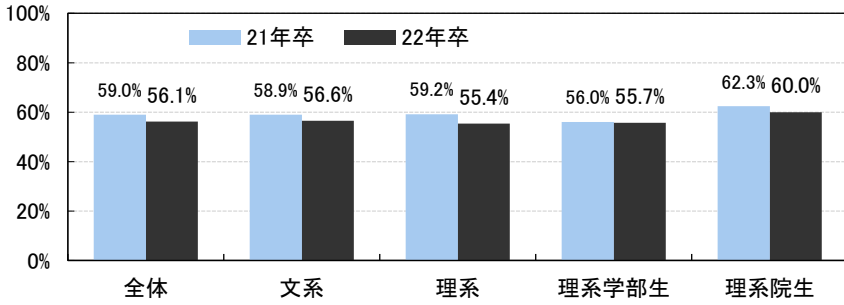
図41 理系・勤務先総合満足度と知っておけばよかった情報の関係

(複数回答) 満足度5と満足度3以下の差が大きい順 ※上位抜粋 n=405



◆ 勤務先満足度が最高の新入社員は、勤務先に「将来の目標となる人」がより多くいる傾向がある

図42 現在の勤務先に「将来この人になりたい」と思う人がいる割合 n=763



「現在の勤務先に『将来この人になりたい』と思う人がいるか」と「そういう人は何人いるか」を聞き、現在の勤務先の満足度との関係を分析したところ、勤務先満足度5の人（高い人）は勤務先満足度が3以下の人（低い人）より、「将来この人になりたい」と思う人がいる割合が高く（39.4pt差）、「この人になりたい人」の人数の平均値も高い（1.9pt差）という結果が出た。つまり、満足度が高い人の勤務先には「将来の目標となる人」がいる割合が高く、いる場合はその人数が多いということが分かる。

図43 勤務先総合満足度 × 将来この人になりたいと思う人がいる割合

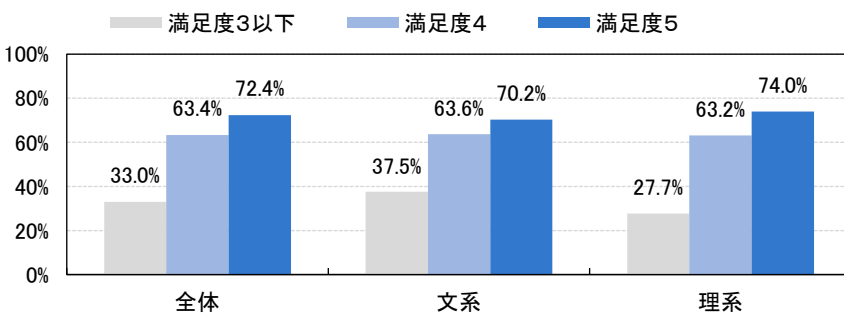
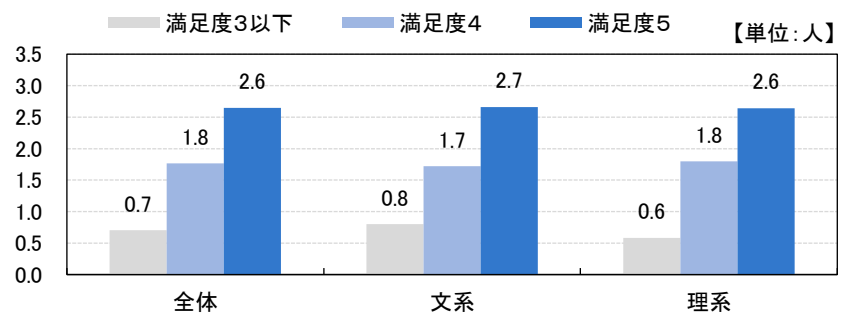


図44 勤務先総合満足度 × 将来この人になりたいと思う人は何人か・平均

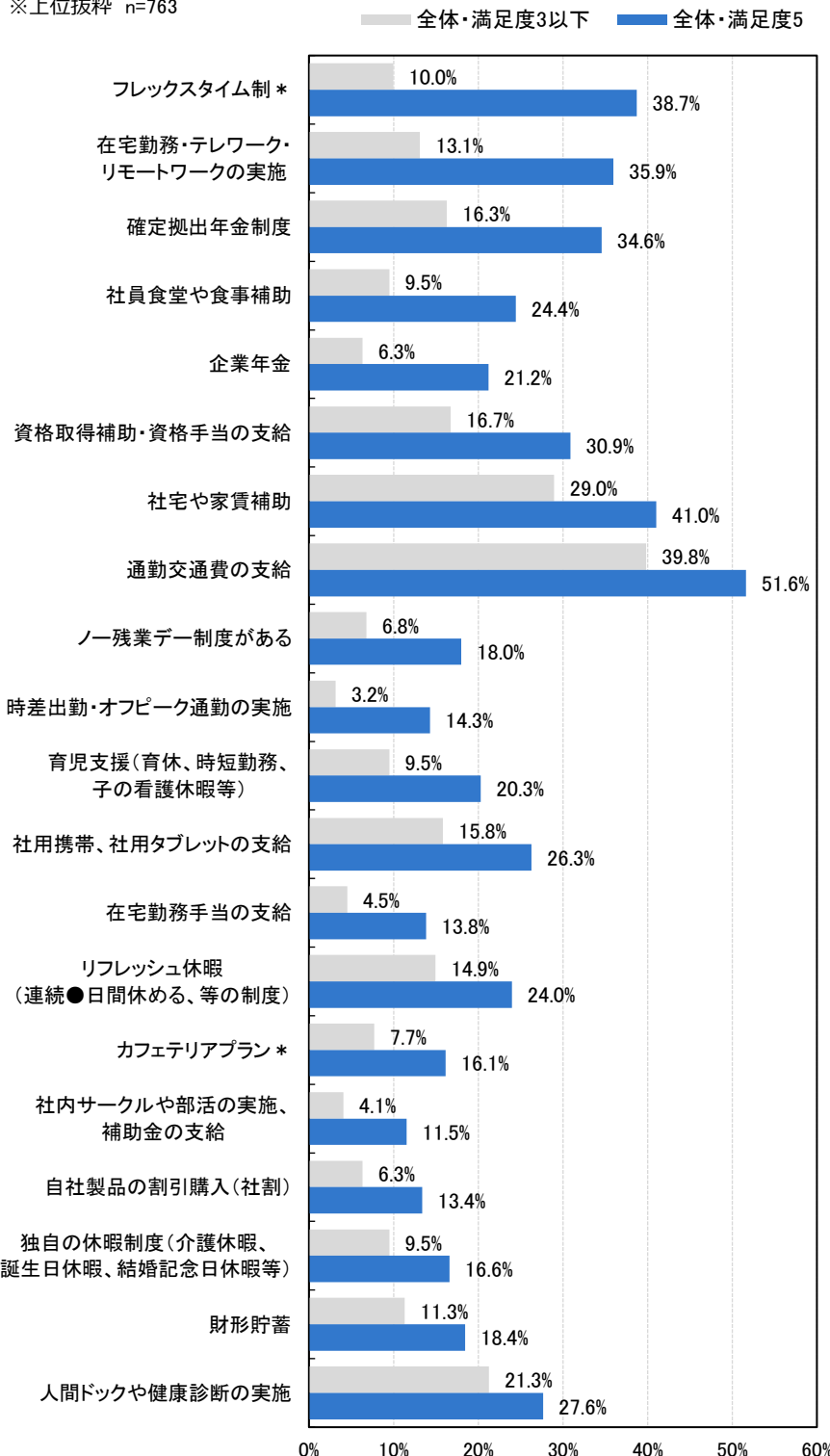


◆ 勤務先満足度が高いか低いかで最も差が出た福利厚生・勤務制度は「フレックスタイム制」

図45 勤務先総合満足度と充実していると思う福利厚生や勤務制度の関係

（複数回答） 満足度5と満足度3以下の差が大きい順 * 今年から追加

※上位抜粋 n=763



「現在の勤務先において充実していると思う福利厚生や勤務制度」を聞き、勤務先満足度5の人（高い人）と満足度3以下の人（低い人）で比較したところ、ほとんどの項目で勤務先満足度5の人のほうが割合が高かった。満足度が高い勤務先は福利厚生や勤務制度が充実していると言える。勤務先満足度5（高い）と満足度3以下（低い）で充実していると思う割合の差が最も大きかったのは「フレックスタイム制（28.7pt差）」で、次が「在宅勤務・テレワーク・リモートワークの実施（22.8pt差）」となり、どちらも「勤務制度」にあたる項目となった。

図46 文系・勤務先総合満足度 × 充実している福利厚生・勤務制度

（複数回答） 満足度5と満足度3以下の差が大きい順 ※上位抜粋 n=355

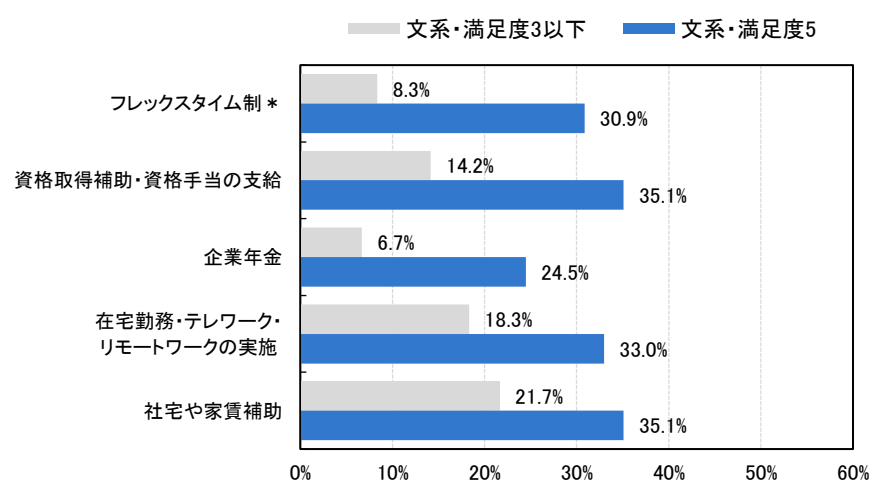
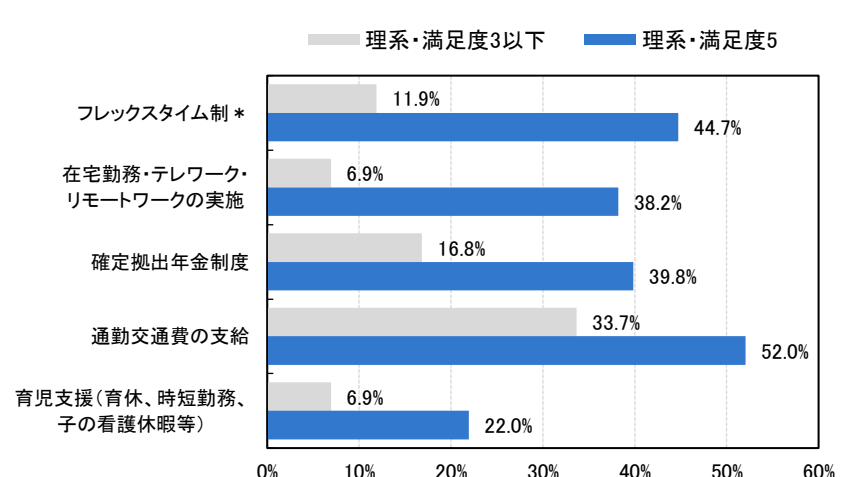


図47 理系・勤務先総合満足度 × 充実している福利厚生・勤務制度

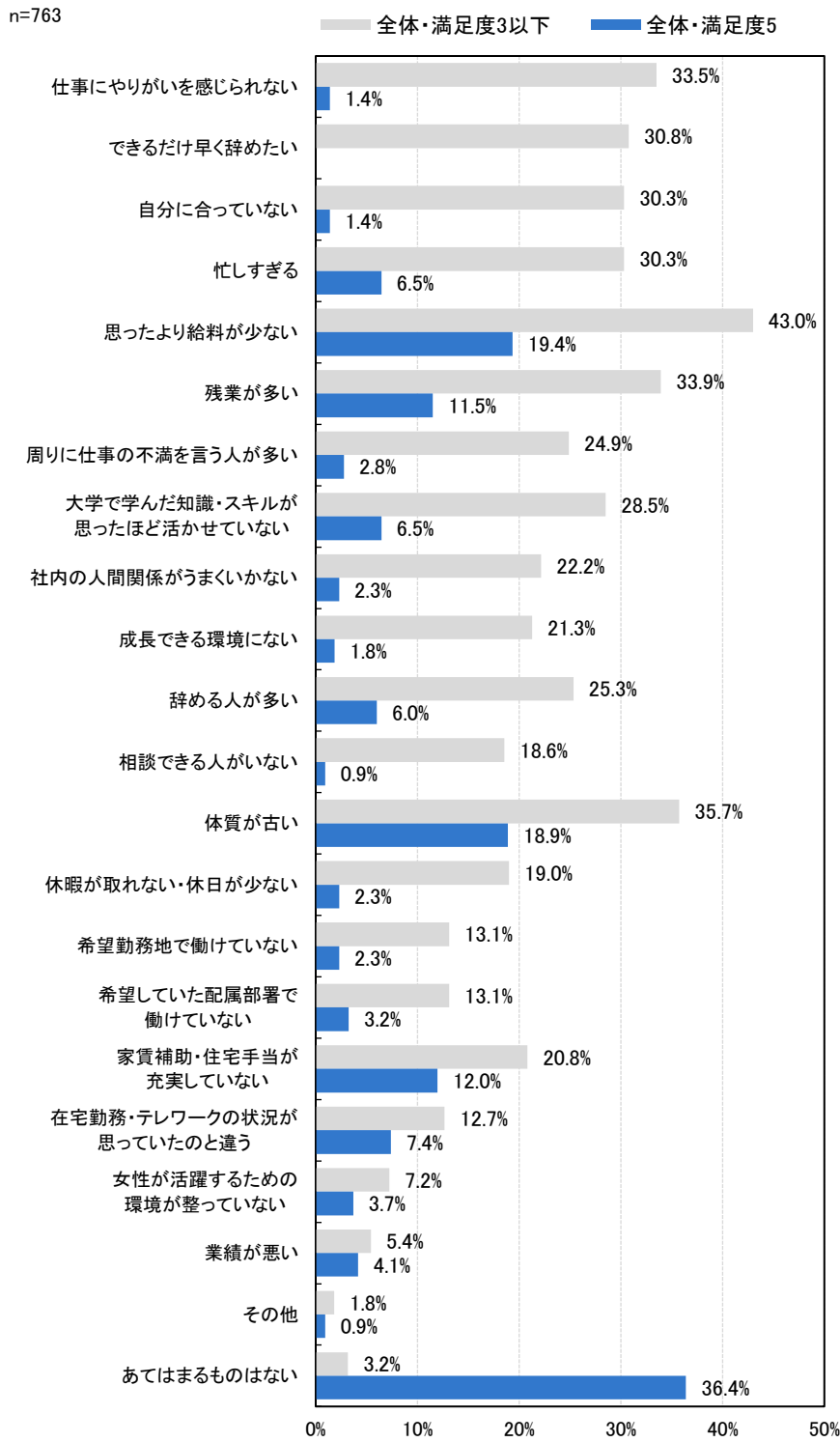
（複数回答） 満足度5と満足度3以下の差が大きい順 ※上位抜粋 n=405



◆ 勤務先満足度が低い人は、勤務先で働いてみて「入社を決めた時とのギャップ」を感じる数がより多い

図48 勤務先満足度と「入社を決めた時とのギャップ※」との関係

※あなたが現在の勤務先で働いてみて思ったこと 満足度5と満足度3以下の差が大きい順（複数回答）



前年の調査で勤務先満足度が4だった人に「5（最高）でない理由」を自由記述で聞いたところ、「就職活動時、その企業に入社を決めた時」と実際に勤務先として働いてみてからの「ギャップ」に関する内容が多く見られた。そこで今年の調査では、その記述内容を元に「入社を決めた時とのギャップ」や「入社して感じた現状」に関する選択肢を作成し、「あなたが現在の勤務先で働いてみて思ったこと」に該当するものを選択してもらった。ここではその結果と、勤務先満足度との関係を分析する。

あてはまる「入社を決めた時とのギャップ」や「入社して感じた現状」の数の平均について、勤務先満足度が5の人（高い人）、満足度が4の人、3以下の人（低い人）と比較したところ、満足度が低い人ほどあてはまる数が多い。満足度3以下（平均4.7個）と満足度5（平均1.1個）では4倍以上の差があった。満足度5と満足度4（平均2.0個）でも2倍近い差がついており、これらの「ギャップ」や「現状」が「満足度5」か「満足度4」かの差になっている可能性を示唆している。

それぞれの「入社を決めた時とのギャップ」や「入社して感じた現状」があてはまる割合について、勤務先満足度5の人（高い人）と満足度3以下の人（低い人）と比較したところ、最も大きな差があったのは「仕事にやりがいを感じられない（32.1pt差）」で、約30倍の差があった。文理別で見ても、いずれも最も大きな差がついている。2番目に差が大きかったのは「できるだけ早く辞めたい（30.8pt差）」で、満足度が3以下の人の場合、3割強が「できるだけ早く辞めたい」と考えている。3番目に差が大きかったのは「自分に合っていない（28.9pt差）」で、その差は「思ったより給料が少ない（23.6pt差）」や「残業が多い（22.4pt差）」よりも大きく、新入社員にとって「自分に合っているかどうか」がいかに重要であるかを改めて示している。4番目は「忙しすぎる（23.8pt差）」だが、これについては文理差が大きく、満足度5（高い）と満足度3以下（低い）との差は、理系（28.4pt差）のほうが文系（18.6pt差）よりかなり大きかった。

図49 「入社を決めた時とのギャップ」の選択数・平均 n=763

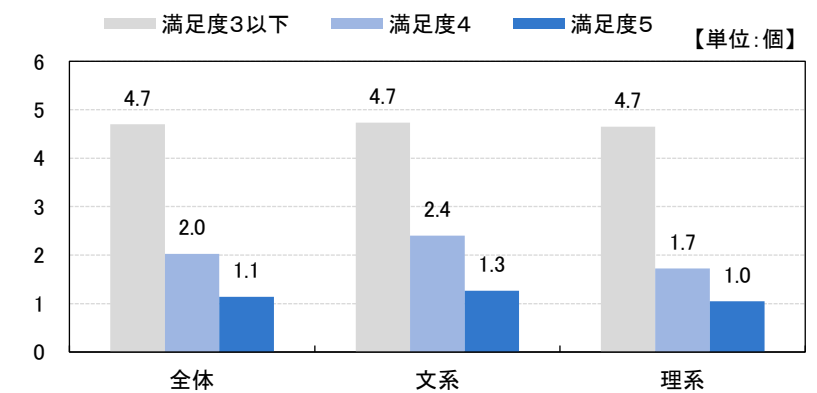


図50 文系・勤務先総合満足度と「入社を決めた時とのギャップ」との関係

（複数回答） 満足度5と満足度3以下の差が大きい順 ※上位抜粋 n=357

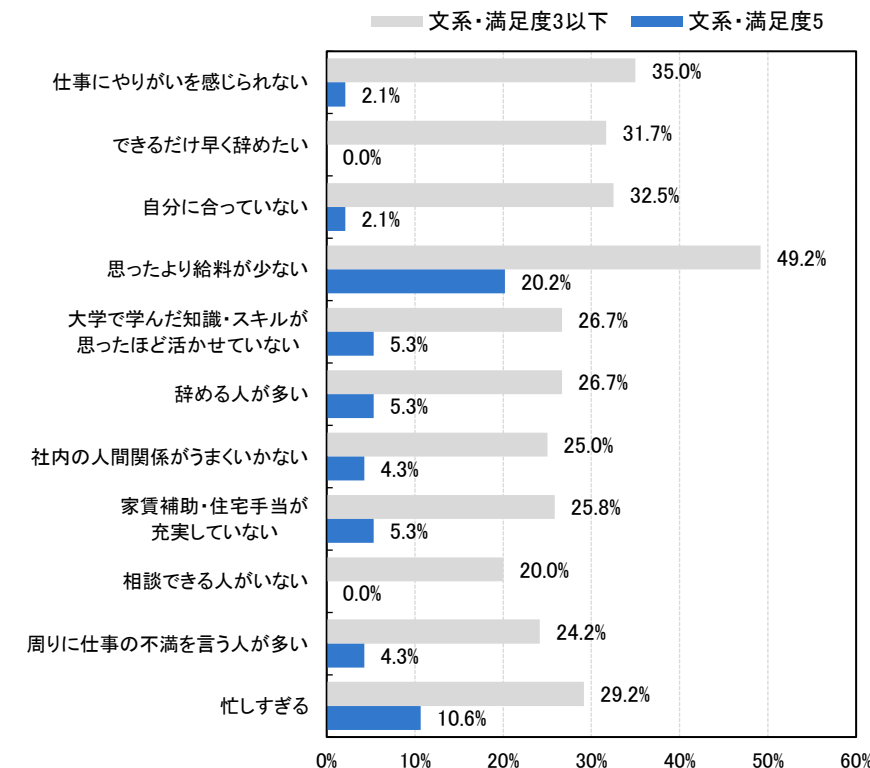
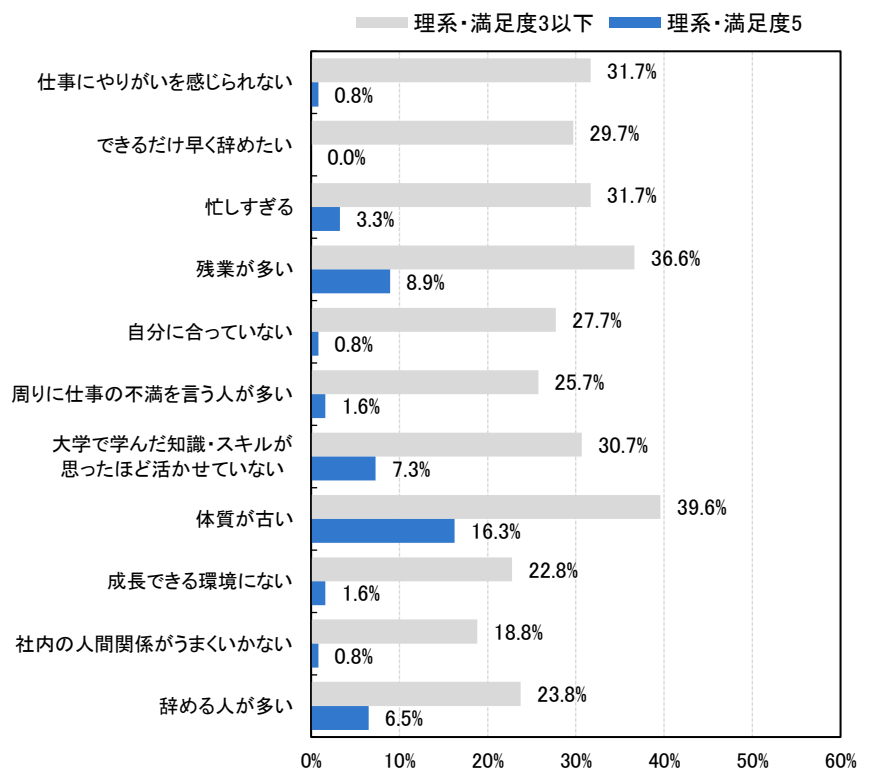


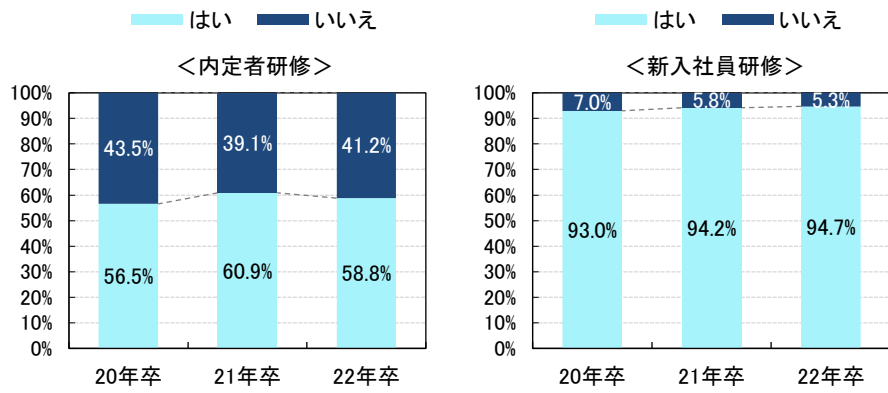
図51 理系・勤務先総合満足度と「入社を決めた時とのギャップ」との関係

（複数回答） 満足度5と満足度3以下の差が大きい順 ※上位抜粋 n=406



◆内定者研修、新入社員研修とも、集合研修が行われる割合が増加、オンライン研修のみは減少

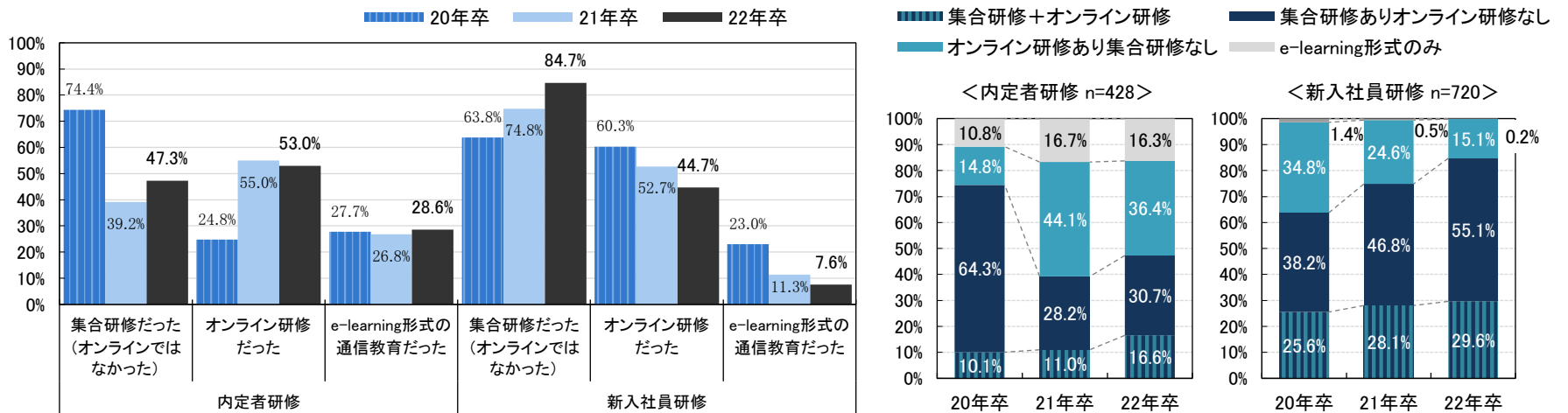
図52 内定者研修、新入社員研修は受けたか n=760



内定者研修を受けた割合は58.8%（前年比2.1pt減）で、新入社員研修を受けた割合は94.7%（前年比0.5pt増）だった。それぞれの研修が集合研修だったか、オンライン研修だったか聞いたところ、内定者研修に集合研修があった割合は47.3%（前年比8.1pt増）、新入社員研修に集合研修があった割合は84.7%（前年比9.8pt増）と、いずれも前年より増加した。

研修の満足度について聞いたところ、内定者研修、新入社員研修とも、集合研修のほうがオンライン研修より満足度が高い人の割合がやや高かった。受けた研修の内容では、内定者研修で最も高い割合だったのは「社会人としての心構え（53.8%）」で、新入社員研修で最も高い割合だったのは「ビジネスマナー（78.7%）」だった。

図53 集合研修だったか、オンライン研修だったか n=760



→ 勤務先業種大分類別 *ソフト=ソフトウェア・通信

回答数(n)	建設					製造			金融	ソフト*	インフラ	サービス			官公庁	
	全体	文系	理系	理系学部生	理系院生	全体	文系	理系	全体	全体	文系	理系	全体	文系	理系	
集合研修+オンライン研修	16.6%	19.3%	11.4%	10.7%	13.7%	4.3%	11.9%	14.3%	10.8%	35.9%	19.8%	28.6%	11.4%	5.7%	17.1%	5.3%
オンライン研修あり集合研修なし	30.7%	32.6%	27.3%	28.6%	25.5%	34.8%	26.7%	26.2%	26.9%	28.2%	14.0%	42.9%	45.7%	60.0%	31.4%	57.9%
集合研修ありオンライン研修なし	36.4%	32.5%	43.8%	49.1%	39.2%	43.5%	40.7%	31.0%	45.2%	30.8%	46.5%	21.4%	31.4%	25.7%	37.1%	31.6%
e-learning形式のみ	16.3%	15.6%	17.5%	11.6%	21.6%	17.4%	20.7%	28.6%	17.2%	5.1%	19.8%	7.1%	11.4%	8.6%	14.3%	5.3%

回答数(n)	建設					製造			金融	ソフト*	インフラ	サービス			官公庁	
	全体	文系	理系	理系学部生	理系院生	全体	文系	理系	全体	全体	文系	理系	全体	文系	理系	
集合研修+オンライン研修	29.6%	27.6%	32.9%	27.3%	38.3%	18.9%	29.3%	22.7%	32.0%	38.0%	45.7%	33.3%	20.7%	18.0%	22.7%	18.2%
オンライン研修あり集合研修なし	55.1%	59.1%	48.6%	57.1%	43.2%	70.3%	55.9%	62.7%	53.0%	48.0%	27.1%	60.0%	64.7%	70.0%	60.6%	72.7%
集合研修ありオンライン研修なし	15.1%	13.1%	18.3%	15.1%	18.6%	10.8%	14.8%	14.7%	14.9%	14.0%	25.6%	6.7%	14.7%	12.0%	16.7%	9.1%
e-learning形式のみ	0.2%	0.2%	0.2%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

図54 内定者研修の成果の満足度

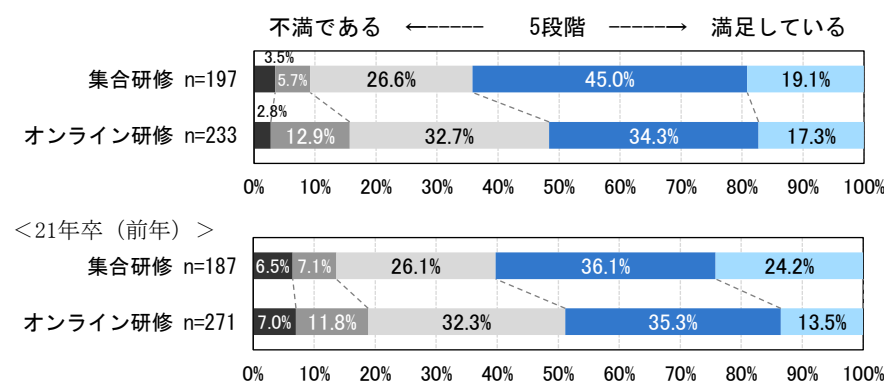


図55 新入社員研修の成果の満足度

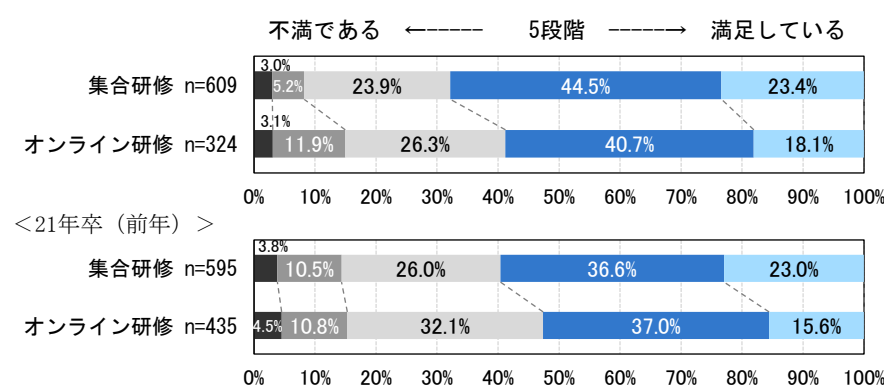
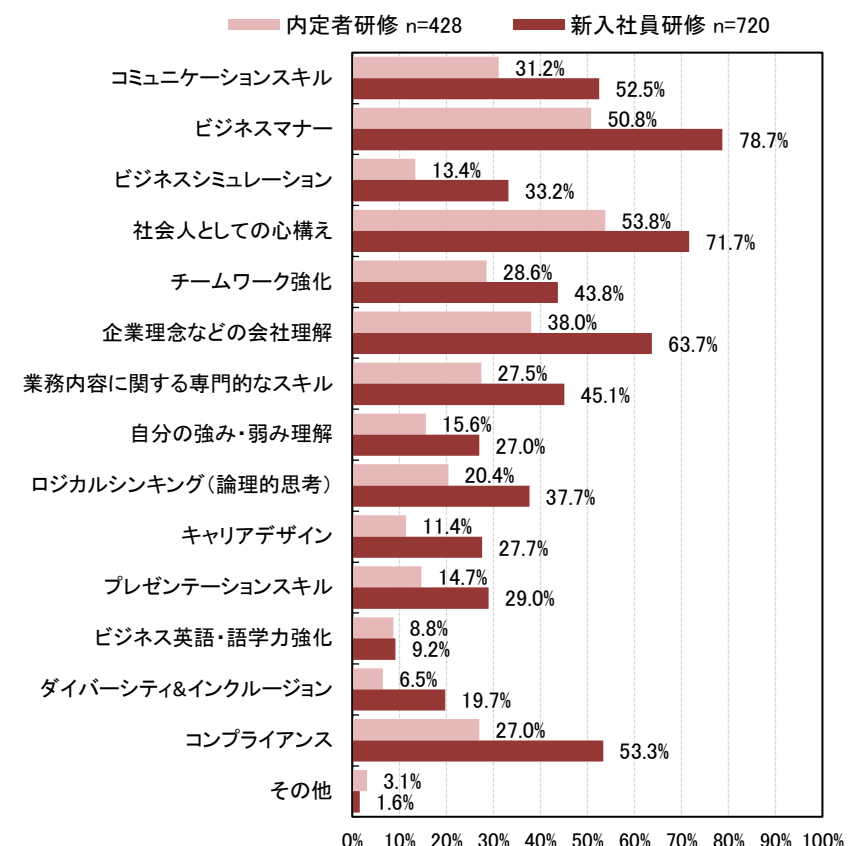


図56 受けた研修内容 (複数回答)



◆あなたの「新入社員生活」(勤務先に入社してから今まで)を漢字一文字で表すと

22年卒 BEST10				文系男子	理系男子	文系女子	理系女子
ランク	前年	漢字	得票率	ランク	漢字	ランク	漢字
1	2	忙	8.64%	1	忙	1	忙
2	1	楽	7.45%	1	楽	2	苦
3	3	学	6.25%	3	辛	3	学
4	3	苦	5.19%	4	苦	4	楽
5	5	変	4.52%	4	耐	5	変
6	7	辛	3.19%	6	学	6	辛
7	9	新	3.06%	6	変	7	新
8	10	難	1.99%	6	新	8 (5つ)	早
9	-	波	1.73%	6	難	波、無、早 暇、勉	7 動
9	6	疲	1.73%	10	進		10 (6つ)
9	8	無	1.73%	10	流	難、無、耐 成、努、速	

22年卒で入社して半年の社会人に、これまでの「新入社員生活」を漢字一文字で表してもらったところ、最も多かったのは「忙」だった。彼らが就活生だった時に「就職活動」を表す漢字として最も多く選んだ「苦」は4位で、2位には「楽」、3位には「学」が入った。「苦しく楽しい就職活動に耐えたのち」→「忙しく、楽しく、はたらかながら、さらに学ぶ」という新入社員生活が垣間見られた。同率の9位に入った「波」は、就職活動の漢字TOP10に入ることがない文字で、入社半年で早くも「波」のように変化にとんだ新入社員生活を送っている人もいようだ。文理男女別に見ると、文系は男女ともそれぞれ「忙」が1位だが、理系男子の1位は「学」、理系女子の1位は「楽」だった。

<就活時>あなたの「就職活動」を漢字一文字で表すと(2021年8月調査)

22年卒(就活時) BEST10			文系男子	理系男子	文系女子	理系女子
ランク	漢字	得票率	ランク	漢字	ランク	漢字
1	苦	4.88%	1	苦	1	苦
2	楽	4.46%	1	楽	2	耐
3	耐	3.15%	3	耐	3	楽
4	難	2.62%	4	難	3	動
5	迷	2.47%	5	運	5	辛
6	辛	2.36%	6	進	6	迷
7	運	2.10%	6	勝	7	考
8	考	2.05%	8	辛	8	悩
8	挑	2.05%	8	挑	9	考
10	疲	1.94%	10	動	10	無
			10	迷	10	疲
			10	悩	10	変

前年(21年卒)ランキング

21年卒(新入社員) BEST10			文系男子	理系男子	文系女子	理系女子
ランク	漢字	得票率	ランク	漢字	ランク	漢字
1	楽	6.29%	1	苦	1	苦
2	忙	5.83%	2	変	2	忙
3	学	5.14%	3	楽	3	疲
3	苦	5.14%	4	学	4	楽
5	変	4.11%	5	忙	5	学
6	疲	4.00%	5	辛	6	辛
7	辛	2.40%	7	耐	7	変
8	無	2.29%	8	疲	8	無
9	新	2.17%	9	難	9	難
10	早	1.83%	8	挑	10 (5つ)	10 (4つ)
10	難	1.83%			早、成、耐、迷、暇	変、成、動、初

○選んだ漢字とその理由

勤務先の業種	文理男女	理由
1位 忙		
クレジット・信販・リース	文系男子	とにかく時間がない。仕事の上でも遊ぶにしても、どこかへ行くにしても、とにかく時間がなく、いつも忙しい思いをしている。
通信	理系男子	仕事が多く、いっぱいいっぱいなことが多かったため。とにかく忙しい。
官公庁・公社・団体	文系女子	思ったよりも残業が多く忙しいから。学生時代よりも早起きしないとだめだから。
建設・設備工事	理系女子	建設現場は状況がめまぐるしく変わり、常に先を見据え、複数のことを考えつつ仕事をしなければならぬので。
教育・学校法人	文系女子	とにかく時間との戦い。どれだけ効率的に業務をこなせるかが肝になる。
薬品・化粧品	理系女子	毎日バタバタで気がついたら半年たったような感じ。
百貨店・スーパー・コンビニ	文系男子	四六時中とにかく忙しく、長めの休みも取れていないため、仕事に追われているから。
2位 楽		
ソフトウェア・ネット関連	文系男子	学生時代はコロナもあり一人で過ごしがちだったが、社会人になって様々な土地の様々な人と出会えて楽しい。また、研修中は苦労したが、配属後は甘やかされて楽。
官公庁・公社・団体	理系男子	これまで経験できなかった様々なことを経験できて楽しく感じるから。
その他サービス	理系女子	研究室生活よりも10000倍楽で、人間関係にも悩まず楽しく過ごしているから。
人材サービス（派遣・紹介）	文系男子	色んな人や色んな仕事があり、楽しんで仕事している。
総合商社	文系女子	仕事は自分の能力に合っているので割と楽し、社員と話すのが楽しいから。
機械・プラント	文系男子	楽しいという意味と働きやすいという意味の楽。
建設・設備工事	文系女子	楽しまないと先輩方に教えていただいたから。
3位 学		
電気・電子機器	文系男子	分からないことばかりで毎日勉強の繰り返しだから。
機械・プラント	理系男子	入社後に専門的に学ぶことはもちろん多いが、社会人になり学んだことがあまりにも多い。
ソフトウェア・ネット関連	文系女子	入社してから現在まで、業務上の技術からコミュニケーションなど多くのことを学んだから。
人材サービス（派遣・紹介）	理系男子	覚える事や学ぶことがとにかく多いがそれらを修得する楽しさがあったから。
クレジット・信販・リース	文系男子	学びが多く成長を実感した期間であったから。
食品・農林・水産	理系女子	栄養学科に通っており、就職先も食品メーカーであるが、学ぶことが多く勉強の日々であるため。
4位 苦		
銀行・証券	文系男子	社会人への適応への苦労、入社した会社の業務がやりたいことではなく苦痛。
繊維・化学・石油	文系女子	思っていたよりも忙しく、責任のある仕事を任されたため苦しかった。
ソフトウェア・ネット関連	文系女子	専門的なスキルを身につけることに時間がかかり、苦しい思いをしてしまったことがあったから。
ソフトウェア・ネット関連	理系女子	環境も業務も辛かったし、苦い思い出ばかりであった。いち早く転職したい。
教育・学校法人	理系男子	もがいているから。
5位 変		
その他サービス	理系男子	自分自身も周りの環境も変化が多く、常に変わることが求められたから。
広告・芸能	文系女子	大変・今までの生活から変わったことが多い・変なルール、マナーが多いと感じたから。
薬品・化粧品	理系女子	学生から社会人になり、一人暮らしを始めて住む場所も変わり、自分の生活や身の回りの環境が大きく変わったと感じたから。
機械・プラント	文系男子	人生初の一人暮らしや経験をして色々な意味で成長したと思うから。
銀行・証券	文系女子	自分の価値観や物事への取り組み方が少し変化したように感じるから。
ソフトウェア・ネット関連	理系女子	生活拠点から内容まで大きく変わったから。慣れるのに精一杯でした。
医療・調剤薬局	理系女子	いろんな価値観の人がおり考えを改めるきっかけになった。想像と違うこともありイメージが変わった。
6位 辛		
官公庁・公社・団体	文系男子	業務が多岐に渡り、慣れないことが多いから。
ソフトウェア・ネット関連	文系女子	大学からの社会人は差がありすぎる。
陸運・海運・物流・倉庫	理系女子	残業時間が思ったよりも多い、かつ勤務地も地元から遠い。
百貨店・スーパー・コンビニ	理系女子	仕事内容が合ってなくて辛い。このままこの部署にいても成長出来ないし、やる気もない。早く部署を変えてほしい。
7位 新		
介護・福祉サービス	文系男子	経験したことのないことを経験しているから。
ソフトウェア・ネット関連	文系女子	初めて一人暮らしを初めての土地で始めて、初めて出会う人達と毎日を過ごしているので生活の全てが変わった。
ソフトウェア・ネット関連	理系男子	新しい場所で新しいことを学んでいったから。
人材サービス（派遣・紹介）	理系女子	知らなかったこと、知らなかった場所、初めて合う人、様々な新しいことがあったから。
食品・農林・水産	理系女子	仕事で新しいことばかりを経験し、とにかくなんでもやってきたから。

勤務先の業種	文理男女	理由
8位 難		
ソフトウェア・ネット関連	文系男子	やるのが難しく、常に反省と努力を求められているため。
放送・新聞・出版	文系女子	社会人、むずかしい。敬語とか。
ソフトウェア・ネット関連	理系女子	大学時代習ったことは全く違う新しいことを叩き込まれ、勉強しつつ仕事をしているが、難しいことばかりでまだまだ先輩に追いつくことは難しいと感じている。
9位 波		
建設・設備工事	文系男子	これまでにない様々な経験をし、考え方が波のように変わり続けている。
薬品・化粧品	理系男子	楽しいことも辛いことも、成長したことも苦手だと発覚したこともあり、いろんな面で波があったと思うから。
給食・フードサービス	理系女子	人手不足で物凄く残業した時もあれば、人が溢れ仕事がないときもあった。
9位 疲		
食品・農林・水産	理系女子	人間関係に疲れたから。相談できる人が身近にいない。
自動車・輸送用機器	文系男子	身体的、精神的に疲れがあるから。
その他サービス	理系女子	慣れないことばかりで、しんどいことが多かったから。
9位 無		
ソフトウェア・ネット関連	理系男子	遊びに行く時間がほとんど取れなく、睡眠を多くするとやれることが無い。
医療・調剤薬局	文系女子	無にならないと色々考えすぎてパニックそうだから。
薬品・化粧品	理系女子	まだ未熟で何も手にいれてないため無であり、無限の可能性があると考えている。

少数回答 ※1票のみの回答で、ユニークなものを抜粋

漢字	勤務先の業種	文理男女	理由
溢	通信	文系女子	毎日が目まぐるしく、初めて覚えること経験することで溢れ返っているから。
羽	食品・農林・水産	理系女子	成長して自分を伸ばしてあげているから。
会	ソフトウェア・ネット関連	文系男子	いろんな出会いがあり刺激を受けた。会議など今まで経験してことのない場が増えた。
覚	銀行・証券	文系男子	社会人としての自覚を持った。新しい世界で覚えることが沢山あった。
巻	陸運・海運・物流・倉庫	文系男子	コロナで止まっていた時間が急速に動き始めたから。いろいろなことに巻き込まれる。
余	繊維・化学・石油	理系女子	学生時代と比べて、かなり時間とお金に余裕ができたから。
駒	住宅・建材・インテリア	理系男子	社会の一員になっていると実感したから。
研	自動車・輸送用機器	理系男子	ずっと研修をしているから。
温	薬品・化粧品	理系女子	今まではアカデミアの世界で全てが競争で、個人プレーで、相手より良い成果をいかに早くとるかということばかり考えていた。しかし会社はチームプレーで、温かな方々に囲まれて、みんなで互いを高め合いながら協力しながら成果をあげていくスタイルで、感激したから。
現	繊維・化学・石油	理系女子	自分の能力の現実に打ちのめされながら頑張っている。周りに優秀な人が多く現れた。
公	官公庁・公社・団体	文系男子	公務員として公平公正な許認可になるよう心がけて仕事をしたから。
好	機械・プラント	理系女子	希望していた職種に就くことができ、職場の人間関係も大変良好で、嫌なことが一つもないため。
嬉	ソフトウェア・ネット関連	理系女子	やりたい事があって第1志望にしていた企業で、やりたい事ができているので、いくら忙しくても難しくても少しずつ成長を感じることが出来て嬉しいから。
溝	ソフトウェア・ネット関連	理系女子	研修と実務のギャップ、自分のスキルと必要なスキルのギャップを感じているから。
志	食品・農林・水産	理系女子	常に目標を志して、一心不乱に仕事に励んだから。
助	電気・電子機器	文系女子	就職と共に上京し一人暮らしも頑張りながら、慣れない仕事にも一生懸命取り組んでいる。それを頑張れるのも周りの方の助けがあるからだと思うから。
話	広告・芸能	文系女子	営業でどんな話をするかなど考えることが増えたり、上司や先輩とコミュニケーションをとる大切さを感じたから。
笑	食品・農林・水産	理系女子	新しく出会った会社の人と笑って仕事してる時間が一番好きで、また社外でも飲み会やご飯に行く時にずっと笑っている印象だったから。
礎	専門商社・通販	文系男子	社会の基礎を学び、顧客に営業することで営業スタイルの礎を築き、自身の社会人生活の礎となる期間だったから。
塵	医療・調剤薬局	理系男子	塵のように扱われるから。
尽	薬品・化粧品	理系女子	とにかく自分のもてる力を尽くしてやることを続けているため。
層	生保・損保	文系女子	いろいろ積み重ねていっている(身につけている)感覚があるから。
痛	精密・医療機器	理系女子	自分の未熟さを痛感したから。
半	鉄道・航空	文系男子	今の自分は社会人として半人前であるから。
風	機械・プラント	文系女子	流れに乗って気づいたら半年たったから。
転	機械・プラント	理系男子	途中の現場での研修がどうしても辛かったが、現在は望んだ職種じゃなくてもそれなりに満足して仕事を行うことができています。
老	クレジット・信販・リース	文系男子	ベテランが多く、若手が少ない。
妙	電気・電子機器	理系女子	上手く業務をこなせるか不安な気持ちが多く、前向きにも後ろ向きにもならない微妙な状態にいるため。
躍	食品・農林・水産	文系男子	全てのことが初めての環境で、知識を身につけていく中で、飛躍、躍動していっていると感じたため。
矢	電力・ガス・エネルギー	理系女子	光陰矢のごとしすぎて。